

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	一般財団法人榛名荘 榛名荘病院
所在地	群馬県高崎市中室田町5989
沿革	昭和13年 榛名荘設立、結核患者の保養施設を開設 昭和22年 結核療養所榛名荘病院開設 昭和24年 54床 昭和31年 榛名荘病院に名称変更 265床 昭和46年 239床（一般病棟187床、結核病棟52床） 平成11年 231床（一般病棟111床 療養病棟120） 平成20年 231床（一般120床 療養病棟111床） 令和3年 199床（一般80床 療養病棟119床） 現在に至る

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	199 床	床	80 床	59 床	60 床	床
平均在院日数(※1)		18.7 日	74.6 日	244.6 日		
病床稼働率(※2)		68.0 %	52.9 %	64.2 %		

※1 在棟患者延べ数（年間） / （新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	199 床	床	80 床	59 床	60 床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	当院は高崎市の榛名・倉洲地域唯一の病院として、急性期、回復期、長期療養までの医療ニーズに切れ目なく対応できる診療体制の構築をしてきた。地域の人口減少問題を踏まえ、令和3年4月より病床を1棟、40床削減し199床とした。 最近では常勤医師の採用が進み、高齢者救急の受け入れ対応力が格段に向上してきている。 2025年に向けても、高齢化が一層進むこの地域の住民が「必要な医療」を「必要な時」に受けられる医療体制を整備していくことを目指し、関係機関と連携を図りながら、在宅医療にも力を入れていくことを計画している。
---------------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	17 科（内科／呼吸器科／胃腸科／循環器科／外科／整形外科／リハビリテーション科／放射線科／歯科／麻酔科／神経内科／精神科／皮膚科／泌尿器科／緩和ケア内科／糖尿病内科／内視鏡内科）
------	--

現在	○ がん	○ 脳卒中	○ 心血管疾患	○ 糖尿病	○ 精神疾患	○ 在宅医療	
	○ 救急	○ 災害	○ へき地	○ 周産期	○ 小児	○ その他	
	「その他」の具体的な機能	脊椎脊髄疾患、リハビリテーション、健康診断					



将来 (2025年)	○ がん	○ 脳卒中	○ 心血管疾患	○ 糖尿病	○ 精神疾患	○ 在宅医療	
	○ 救急	○ 災害	○ へき地	○ 周産期	○ 小児	○ その他	
	「その他」の具体的な機能	脊椎脊髄疾患、リハビリテーション、健康診断					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	はるな脳外科	高崎総合医療センター	日高病院
主な紹介先医療機関	はるな脳外科	高崎総合医療センター	日高病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 専門特化した脊椎 脊髄疾患の治療	当院には、日本脊椎脊髄病学会の指導医が5名在籍している。 首から腰まで、小児から高齢者まで、困難な症状に苦しんでいる患者様の診療、および技術向上のため、日々研鑽に努めている。
特徴的な 切れ目のない 診療体制	当院で治療を受けられるすべての患者様が、在宅・社会復帰されるまで、安心して入院生活を送って頂けるように「一般病棟」、「回復期リハビリテーション病棟」、「療養病棟」を設置し、退院の際は、法人内に併設されている介護関連施設や法人外の関係機関と密接に連携をとりつつ、患者様の退院後の生活を支援している。 また、入院・通院・訪問によるリハビリテーションを実施しており、急性期から生活期まで切れ目のない総合的な地域リハビリテーションシステムを確立している。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	高崎市の榛名・倉淵地域唯一の病院として、急性期から回復期、慢性期までを、切れ目なく対応できる診療体制の構築を目指してきた。 脊椎脊髄疾患の専門特化診療との相乗効果により、高齢者に特有な疾患への対応に力を入れている。 最近では常勤医師の採用が進み、高齢者救急の受け入れ対応力が格段に向上してきている。
当院の未来像	高齢者世帯・ひとり暮らし世帯が増加する中で、榛名・倉淵の地域住民のニーズに対応し、地域から頼りにされる病院を目指している。 高齢者の運転免許返上問題もあり、迫っている超高齢化社会においては、高齢者が医療機関を受診する交通手段でさえ、大きな問題となることが予想される。 当院は高崎市の榛名・倉淵地域唯一の病院として、急性期から回復期、慢性期まで、そして更には在宅医療まで、一連の診療体制を拡充させ、この地域の住民が「必要としている医療」を「必要な時」に受けられる医療環境の構築を目指していくことで、地域住民の利便性向上・負担軽減に寄与したい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	今後も地域のニーズに合わせた良質な医療の提供と脊椎脊髄疾患に対する専門特化診療の充実を両立させることを使命と考え、努力を続けていきます。 そして、榛名・倉淵の地域住民に寄り添い、地域から頼りにされる病院を目指していきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	特定医療法人博仁会第一病院
所在地	群馬県高崎市下小鳥町1277番地
沿革	昭和37年9月20日 医療法人博仁会設立 昭和39年4月 高崎市下小鳥町に第一病院開設（病床数49床） 昭和52年2月 現院長 佐藤和徳就任 平成10年3月25日 訪問看護ステーションことり併設 平成11年11月1日 第一病院居宅介護支援事業所併設 平成16年5月 介護老人老人施設ことりの園併設（入所数50人） 平成25年2月 新南棟竣工・増床（193床）

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	193床	0床	83床	63床	47床	0床
平均在院日数		18.1日	45.5日	143.7日		
病床稼働率		84.1%	91.9%	94.7%		

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	193床	0床	83床	63床	47床	0床	0床

2025年に向けた病床活用の見通し	急性期病棟を主とし、特殊疾患病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟もあり、予防・治療・機能回復（リハビリ）まで一貫した医療を心がけ地域医療に貢献できる病院を目指します。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	科（外科、循環器外科、血管外科、内科、循環器内科、人工透析内科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、胃腸科、肛門科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、歯科、口腔外科）
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	救急医療・リハビリテーション				



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	認知症・整形外科疾患・リハビリテーション・在宅医療				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	群馬大学医学部付属病院	診療所多数
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	群馬大学医学部付属病院	前橋赤十字病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 地域に根差した全人的医療	急性期病棟を主として、特殊疾患病棟、亜急性期である地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟もあり一貫した医療を心がけております。在宅での生活を最大の目標とし、予防、治療、リハビリテーションまで、地域の患者さんのニーズに貢献できる病院を目指しております。
特徴的な 様々なニーズに対応できる介護保険事業	当院併設には、介護老人保健施設、地域包括支援センター（高齢者あんしんセンター）、居宅介護支援事業所（2事業所）、訪問看護ステーションがあり、又、グループ法人で介護老人福祉施設、通所介護があり、住み慣れた地域で安心して医療・介護を受けられるよう努めております。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	当院をご利用される皆様が安心して地域で過ごしていただけるよう、急性期病棟を中心に、内科疾患から外科、整形外科疾患まで様々な疾患に対応できるように心掛けております。近年では、高度急性期病院からの連携病院としての機能も担っております。
当院の未来像	「プライマリー・ケア&ケアミックス」 高い医療技術を持つとともに、地域に根ざしたかかりつけ医機能、予防、治療、リハビリテーション、在宅医療、介護までの一貫した機能を持ち、高齢化によって変化する地域ニーズに貢献できる法人を目指します。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	当院では、急性期からリハビリテーション、ご自宅の生活までを一つの繋がりととして考えております。技術面においても、内科疾患から外科、整形外科疾患で最先端の技術を取り入れ、利用して下さる方一人おひとりに合わせた最適な支援を心がけております。近年では、予防医療・予防介護にも力を入れ、運動教室や糖尿病教室、認知症カフェなどを開催して、地域の皆様に愛される病院を目指しております。何かお困りに際はお気軽にご相談ください。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	医療法人真木会 真木病院
所在地	群馬県高崎市筑縄町 71-1
沿革	昭和16年：高崎市檜物町に外科病院として創設 昭和45年：現在の地、筑縄町に移り外科、内科、整形外科を標榜する真木病院として新規開設 昭和52年：地域で最初の人間ドック開始 平成18年：高崎PET総合画像診断センターを病院南側に開設 平成25年：高崎PET総合画像診断センターを真木病院外来棟に変更 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	150 床	0 床	90 床	32 床	0 床	28 床
平均在院日数	日	16.6 日	29.0 日	日	日	日
病床稼働率	%	82.4 %	92.4 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。

※地域包括ケア病床32床あり

将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	130 床	0 床	90 床	40 床	床	20 床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	二次救急など地域に求められる急性期機能を提供していくとともに、急性期治療を終えた患者や在宅で暮らす方にもリハビリテーションを提供する体制を拡充させる。地域の他の病院、クリニックとの連携体制を強化し、二次救急病院としての役割を果たし、地域医療の推進への貢献していく。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	17 科 (内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、人工透析内科、外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、腫瘍外科、内視鏡外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線診断科、肝臓胆嚢膵臓内科、内科(脳・神経))
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、人間ドック等健康診断				

将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、人間ドック等健康診断				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学医学部付属病院	高崎総合医療センター	日高病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	群馬大学医学部付属病院	日高病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 切れ目のない医療体制	人間ドック、PET-CTによる検診などの予防医療に力を入れている。また、PET-CTを用いたアルツハイマー型認知症の検査も開始しさらに予防医療の幅を広げている。 急性期治療を行い、在宅復帰支援として地域包括ケア病床で充実したリハビリを受け、在宅への退院を支援している。 在宅の支援サービスも充実している。継続的に医療看護が必要な患者様へ訪問診療看護、その他機能訓練に力を入れた介護サービスなどの提供も行う。 一連の医療、福祉のサービスを切れ目なく提供できる体制を整えている。
特徴的な チーム医療	個々の患者様の個性に着目し、認知症ケア、緩和ケア等において、医師を始め、他職種で連携を図り、情報の共有及びアセスメント、実施、評価（PDCAサイクル）にて身体拘束はゼロに近い。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック、PET-CT等による健康診断に力を入れ、疫病の早期発見、早期治療に努めている。PET-CTを用いたアルツハイマー型認知症の早期発見にも力を入れていく。 ・二次救急病院として特に高齢者の救急車を積極的に受け入れる体制を整えている。 ・急性期治療を終え在宅復帰に努め、リハビリテーション体制の充実を図っている。
当院の未来像	<p>2025年に新病院が開院いたします。一新された新病院でも引き続き救急医療、リハビリテーションや在宅復帰支援に力を入れます。特に真木病院のある旧高崎市北西部、かかりつけ患者様の多い箕郷地区・榛名地区・倉渕地区において、当院が担う医療提供の責任は大きく重大であることを認識し、「地域と病院の関係性」をより深めていかなければなりません。治療が終わったら終わりではなく退院までの支援、自宅に帰ってからの支援、それらの支援を切れ目なく提供することで関係性を深めてたいと考えています。</p> <p>予防医療においては、人間ドック、PET-CT等にて、疫病や予備軍の早期発見に貢献するとともにPET-CTによるアルツハイマー型認知症の検査も行い、今後の大きな課題でもある認知症の検査も力を入れていきます。</p> <p>病気を診るだけが医療ではない。病気にさせないこと、病気の後にも寄り添うことこれらも医療でできることです。これからも生活支援として何が出来るかを常に考え、「かゆい所に手が届くサービス」を提供していけるような事業を展開していきます。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>「みんな仲良く医療で奉仕 誰にも親切笑顔で応対」 真木病院の病院理念です。 この理念を大切にし、暖かく安心ができる医療を提供できるよう日々心がけています。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団田貫会 高瀬記念病院
所在地	群馬県高崎市南大類町885-2
沿革	平成10年：一般病床19床の循環器科有床診療所として開院 平成14年：救急告示病院として指定。高崎地域の救急医療を担う。 平成26年：医療法人社団千栄会昭和病院と合併 一般病床35床の病院へ種別変更 令和4年：昭和病院の病床機能を移転統合し、一般病床124床(うち特殊疾患病床44床)療養病床46床の計170床とし、高瀬記念病院へ名称変更

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	170 床	床	80 床	床	90 床	床
平均在院日数(※1)		日	6.0 日	日	103.8 日	
病床稼働率(※2)		%	68.0 %	%	66.7 %	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	170 床	床	80 床	床	90 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	高瀬クリニックと昭和病院の病床統合により、急性期病床80床に慢性期90床、計170床を有し、今後はリハビリにも力を入れ、早期離床の為の治療を行う。その後、在宅医療に向け、慢性期病棟でもリハビリを重点的に行う体制を構築する。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	7科 (循環器内科、心臓血管外科、放射線科、麻酔科、内科、消化器内科、リハビリテーション科)
------	--

現在	がん	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他	
	「その他」の具体的な機能							



将来(2025年)	がん	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他	
	「その他」の具体的な機能							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬県立心臓血管センター	高崎総合医療センター	藤岡総合病院
主な紹介先医療機関	群馬県立心臓血管センター	高崎総合医療センター	藤岡総合病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 高度な技術力の提供	循環器内科、心臓血管外科を標榜し、経験豊富な常勤の専門医が治療をおこなっており、幅広い循環器疾患に対応しております。
特徴的な 救急医療体制	救急車の要請に対し、365日24時間即座に対応できるよう体制を整えております。急性心筋梗塞など早急な対応が求められる疾患に対しても、医師、看護師を始め、医療スタッフ一丸となって迅速な対応をとることができます。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	高瀬記念病院では主に狭心症、心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症、大動脈疾患の診断と治療を行っております。動脈硬化の原因となる高血圧、高脂血症、糖尿病の生活習慣病の治療にも重点を置くとともに、突発的に起こる不整脈や心不全などの疾患にも迅速な対応を心がけ、診療を行っております。 令和4年5月に昭和病院との統合により、消化器内科とリハビリテーション科が新設となっております。また、病棟においては療養病棟の他、特殊疾患療養病棟を有し、重度意識障害や重度身体障害の患者受入対応しております。
当院の未来像	昭和病院との病床統合により、急性期80床、慢性期90床の計170床を有し、循環器分野においては心臓リハビリテーションの実施体制を整え、更に循環器疾患治療の充実を図ります。急性期から慢性期と一貫した医療体制を整え、地域の医療機関、介護施設との連携を深め、地域医療に貢献できる病院を目指します。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	循環器疾患において365日24時間高度な医療を提供できる体制を整えています。胸の痛みなど気になる症状のある方はお気軽にご相談下さい。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人松沢会 希望館病院
所在地	群馬県高崎市江木町1120
沿革	昭和32年：高崎市江木町1093番地に医療法人設立 同 年：一般病床32床、結核病床16床の48床にて開院 昭和59年：一般病床94床となる 平成10年：一般病床35床、療養型病床84床の119床 平成12年：現在地に移転、病床数119床にて開院 平成19年：一般病床10床を増床、計129床 平成21年：一般病床1床を増床し、計130床 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	130 床	床	19 床	32 床	79 床	床
平均在院日数	日	20.6 日	45.1 日	277.1 日		
病床稼働率	%	96.3 %	68.4 %	92.1 %		

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	130 床	床	19 床	32 床	79 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	急性期から終末期までの患者様のさまざまな要望に応えられるように、透析やリハビリテーション機能の充実を図るとともに、多職種の連携によるきめ細かい医療の提供を目指します。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	8 科 (内科、外科、整形外科、小児科、リハビリテーション科、神経科、皮膚科、泌尿器科)
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		血液透析			



将来(2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		血液透析			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	済生会前橋病院	高崎総合医療センター	日高病院
主な紹介先医療機関	日高病院	済生会前橋病院	高崎総合医療センター

5. 当院の特徴について

特徴的な 地域医療連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中核病院として地域の医療機関や介護施設、民間サービス等と連携しながら、医療機関としての特徴を生かした最適なサービスを提供しています。 ・地域の皆様が安心して暮らしていただけるように、地区の在宅医療と介護関係者の連携に向けた連携会議（40名～50名参加）の開催に積極的に協力しています。
特徴的な 血液内科	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年に血液疾患（がん：白血病、悪性リンパ腫等）の患者様を受け入れるため、10床の増床を行いました。 ・さまざまな症状の患者様に適切に対応するため、多職種の職員が連携しながら積極的な情報共有を行っています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・内科系の患者様を中心に、透析とリハビリテーションを提供できる病院です。 ・法人が運営する病院、老人保健施設を中心に、近隣の福祉施設等と連携しながら、医療と福祉の橋渡しに努めています。 ・地域の皆様が安心して暮らし続けられるように、在宅医療と介護の連携にも積極的に対応しています。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期から終末期までの患者様のさまざまな要望に応えられるように、法人の運営する病院、老健を中心に近隣の福祉施設等と連携しながら総合医療施設の中核としての役割を果たしてまいります。 ・地域の皆様が安心して暮らし続けられるように、地域の医療機関や福祉施設と連携しながら、患者様やご家族様と一緒に課題の解決ができる利便性の高い病院を目指してまいります。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムという言葉が生まれる60年前から、多職種による協働を実施し、地域の皆様の安心・安全な暮らしのお役に立ちたいと願ってまいりました。今後も、職員一丸となって日々精進してまいります。 ・地域の中核病院として、安心でやさしい病院であることを目指してまいります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 社団美心会 黒沢病院
所在地	群馬県高崎市矢中町187
沿革	1977(昭和52年)12月19日黒沢医院を開院（一般病床数7床） 1985(昭和60年)6月黒沢病院 東棟完成（一般病床数43床） 1989(平成1年)10月黒沢病院 西棟完成（一般病床数86床） 1997(平成9年)3月一般病床12床増加。98床となる。 2009(平成21年)7月黒沢病院附属ヘルスパーククリニック開院（外来を分離） 2014(平成26年)7月黒沢病院新築移転開院 脳卒中センター開設 2020(令和2年)2月発熱外来開始 2021(令和3年)5月新型コロナウイルス感染症専用病床を設置 現在（令和3年） 一般病床 100床 脳卒中センター 12床 地域包括ケア病床 18床 計130床 ※上記以外 新型コロナウイルス感染症専用病床 16床

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	130 床	12 床	118 床	床	床	床
平均在院日数(※1)	7.7 日	11.2 日	日	日	日	
病床稼働率(※2)	94.8 %	86.1 %	%	%	%	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	130 床	12 床	118 床	床	床	床	床

2025年に向けた
病床活用の
見直し

当院は、救急を断らない姿勢を開業当初から現在まで引き継いでおり、救急車受入件数は年々増加している。また、高崎安中地域及び多野藤岡地域のみならず、前橋、伊勢崎、埼玉県北地域における脳卒中患者の緊急受入対応の必要性から、24時間365日対応の脳卒中センターを平成26年7月に開設しました。その結果、平成26年は1,573件であった救急車は、翌年からは毎年2,000件以上の受入れとなりました。また、脳神経外科医を5名配置し、脳卒中患者の早期治療を行っております。

今後も救急医療については脳卒中センターを中心に高度な医療を提供し、また、さらなる救急医療体制を構築するため、外科、整形外科医の配置を行い一般病床の増床を計画しています。

泌尿器科では高崎安中地域で中心的な施設になるべく、元群馬大学医学部附属病院の准教授である伊藤一人を病院長とし、腹腔鏡技術認定医を含む泌尿器科医を7名配置し、より高度な手術（腹腔鏡下悪性腫瘍手術、手術支援ロボット（DaVinci））や最新医療にも対応できる体制を構築させ、早期発見、適切治療につなげていきます。

また毎年11月から3月の時期には、脳卒中の救急患者が増えるが、満床でお断わりをせざるを得ない事も多くなる。よって、この地域には当院の高度急性期及び急性期病床は必要不可欠と考える。新型コロナウイルス感染者入院や救急患者への断らない医療を継続的に行うためにも急性期病床を150床とし、超急性期病床と合算して総病床162床を確保して対応していきたいと考えている。



3. 医療機能について

診療科目	22 科 (泌尿器科・泌尿器科（人工透析）・脳神経外科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・内科・循環器内科・呼吸器内科・肝臓内科・内視鏡内科・アレルギー科・婦人科・皮膚科・美容皮膚科・リハビリテーション科・麻酔科・歯科・歯科口腔外科・放射線科・病理診断科))
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		新型コロナウイルス感染症			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		新型コロナウイルス感染症			

4. 連携している医療機関について

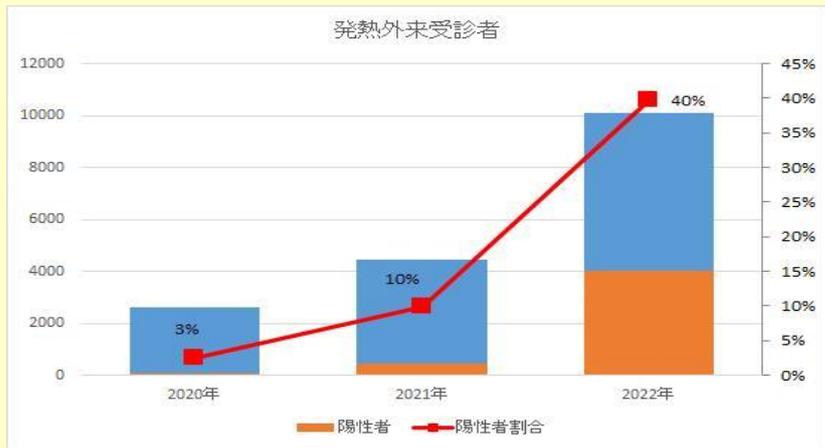
主な紹介元医療機関	黒沢病院附属ヘルスパーククリニック		
主な紹介先医療機関	黒沢病院附属ヘルスパーククリニック	高崎総合医療センター	日高リハビリテーション病院

5. 当院の特徴について

<p>特徴的な</p> <p>超高齢化社会に向けた高度な医療の提供</p>	<p>脳卒中センターを開設し、脳卒中患者の早期治療を行っており、センター開設に伴い、医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師を24時間配置し、緊急の検査、処置、手術にも即座に対応できる体制を構築している。各職種を常時配置していることにより救急車到着後、血栓溶解療法（t-PA療法）も一時間以内で実施出来る。</p> <p>泌尿器科については、より高度な手術（腹腔鏡下悪性腫瘍手術、手術支援ロボット（DaVinci））や侵襲性の大きな手術、癌に対する化学療法及び最新医療にも対応できる体制を構築させ、早期発見、適切治療につなげている。</p>
<p>特徴的な</p> <p>地域包括ケアシステムの構築</p>	<p>地域で安心して暮らせるため、高度急性期から終末期までを網羅するケアシステムを構築するために、病院を中心に、その後の患者の在宅復帰支援体制として地域包括ケア病床を設置し、急性期医療と在宅の間で機能させ、その後の訪問診療、訪問看護サービスに繋げ、また、後方支援として老人保健施設、特別養護老人ホーム、サ高住、介護付き有料老人ホーム等をグループ内で整備し地域包括ケアシステムの中核的役割を担うシステムを完成した。</p>

6. 現状と今後の方針等

<p>当院の現状</p>	<p>当院は、良質な総合医療サービスの提供を基本理念として、地域医療の発展向上のため、地域に必要な医療へ積極的に取り組んでいます。</p> <p>特に、救急医療は医療機関の責務と位置付け、開院当初より積極的に力を入れ、地域の医療機関と連携し救急患者の受入を行っています。</p> <p>また、救急入院患者を受入れる体制として、看護師を充実させ7：1看護を取得維持し、急性期リハにも対応すべく、リハビリのエリア拡大等を行い、病院全体で人員、設備面ともに充実した体制構築に取り組んでおります。さらに急性期を担う医療機関の方向として、その意識を持って取り組むべく、同医療圏内では最初にDPC対象病院として始動し、急性期の医療機関として積極的に救急医療に取り組んでおります。</p> <p>また、東北の震災や関越道の事故などを期に当院でも更なる危機意識と、地域における当院の役割を更に認識し、大学病院の救急部医師の協力体制のもと時間外医療体制を充実させております。</p> <p>更に、高崎安中地域及び多野藤岡地域における脳卒中患者の緊急受入対応の必要性から、脳卒中センターを開設し、脳卒中患者の早期治療を行っております。脳卒中センター開設に伴い、医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師を24時間配置し、緊急の検査、処置、手術にも即座に対応できる体制を構築しております。また、平成27年からは、年間約2000件以上の救急車受入を行い、地域の医療機関や介護施設と連携して救急患者の対応を行っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当院では令和2年2月から発熱外来を開始し、一般の受診者と接触がないようにするためプレハブを造設しました。受診者数は県内外を問わず多くの方が受診しており、2020年は年間2500件程度でしたが、2022年には10000件を超え、陽性患者の割合は40%を超える患者を診察しています。また、令和2年7月には院内PCR検査を開始し、迅速に結果を出し、院内での感染拡大を未然に防ぐ対策や発熱症状が無く救急車で来院した方へもPCR検査を実施したことにより、新型コロナ陽性者を発見することもできるようになりました。</p> <p>さらに、令和3年5月にはコロナ病床を開設し、現在は、群馬県では太田の病院の17床について、西毛地区の民間病院では最高の16床に増床しています。軽症～中等症の方を受け入れており、高崎市在住の患者をはじめ桐生や太田、館林地区といったように遠方からの入院も受け入れております。</p>
--------------	--



これからの超高齢化社会に対応すべく、地域における中核病院として、泌尿器科と脳神経外科を中心に高度急性期に加えて中等症の疾患も含む急性期の治療を担っていきます。

脳卒中センターを今後も維持し、高崎安中地域及び多野藤岡地域のみならず、前橋、伊勢崎、埼玉県北地域からも脳卒中患者の緊急受入を行っており、開設して7年が経過していますが年々脳卒中患者の受入は増え続けています。今後も、脳卒中患者の受入体制の必要性があると考え、脳神経外科医を5名配置し、脳卒中患者の早期治療を行っていきます。

当院の未来像



泌尿器科では高崎安中地域で中心的な施設になるべく、伊藤一人病院長を中止に、腹腔鏡技術認定医を含む泌尿器科医を7名配置し、より高度な手術（腹腔鏡下悪性腫瘍手術、手術支援ロボット（DaVinci））、癌に対する化学療法及び最新医療にも対応できる体制を構築させ、早期発見、適切治療につなげていきます。

新型コロナウイルス感染症については、今後の継続的な対策が必要と考えます。発熱外来受診者が当院へスムーズに入院加療へと移行できるよう十分な病床の確保と医療機器の設置、職員の配置を継続的に実施していきます。また、ワクチン接種も当院附属クリニックを中心に継続的に行っていきます。

その他
(県民・受診者への
メッセージ等)

私達は、地域の皆さまが、住み慣れた街で安心して暮らせるように、泌尿器科、脳神経外科を中心として、高度急性期及び急性期医療を担っていく。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人二之沢会 二之沢病院
所在地	群馬県高崎市足門町142-1
沿革	昭和20年：森田醫院を開設、昭和29年：医療法人（社団）設立・二之沢病院開設、平成2年：併設施設として二之沢パナケア介護老人保健施設（全50床）を開設、平成15年：二之沢病院を建替（全療養型病床120床）、平成16年：病床区分変更（医療療養病床60床・介護療養病床60床）、平成18年：二之沢パナケア短期入所生活介護施設開設、平成22年：病床区分変更（医療療養病床120床）、平成28年二之沢パナケア介護老人保健施設を増床（全100床）

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	120 床	床	床	床	120 床	床
	平均在院日数	日	日	日	193.6 日	
	病床稼働率	%	%	%	97.8 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	120 床	床	床	床	120 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	地域における主として高齢者や終末期の医療ニーズへ対応するため、現状の医療病床を維持していきたいと考えます。今後更に重要となる地域包括ケアの中では、他の急性期や回復期の病院、在宅や高齢者・障害者施設との連携をより円滑に図れるよう、相談援助部門の整備にも力を入れたいと考えます。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	2 科（内科・老年内科・緩和ケア内科・皮膚科）
------	-------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	○ 在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		健康診断			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	日高病院	群馬大学医学部附属病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	群馬中央病院	真中記念クリニック

5. 当院の特徴について

特徴的な 	医療療養病床に特化した病院であり、療養を継続しながらの生活の維持や、看取り、認知症ケア等を重視している。医師は、血液内科・老人内科・緩和ケア内科の常勤の各専門医が診療にあたり、質の高い医療の提供を目指す体制を作っている。
特徴的な 	併設施設として介護老人保健施設、隣地に関連法人が運営する特別養護老人ホームがあり、地域全体でケアミックスで高齢者や障害者を支える体制を作っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 他の医療機関や関連機関に、当院の対応できる医療の内容（スペック）について積極的に説明し、ご納得を頂いた上で入院を受け入れさせて頂いています。 在宅医療については、その活動を24時間365日で担う看護師や医師が足りず、地域ニーズに対して十分に対応できていない。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療を担う看護師や医師等の従事者を確保し、入院から在宅までシームレスにフォローできる体制を構築する。 理事長が皮膚科の専門医で、療養病床に入院する患者の褥瘡や皮膚疾患へ、より専門的に対応が可能な病院を目指す。 半径1 km以内に、多くの高齢者施設や障害者施設、児童施設が点在し、工業団地もあることから、そこで働く職員への健康診断や労働衛生等のサービスを提供し、この地域で働くことの魅力を上げることに貢献する。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> 当院は、地域に根差した、地域の方が必要と感じて頂ける病院を目指しています。

2025年への対応方針

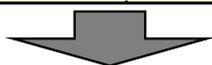
1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	高崎中央病院
所在地	群馬県高崎市高関町498-1
沿革	<p>1950年：高崎民主診療所を開設 1962年：高崎中央病院に改編。病床数22床。 1985年：高崎市高関町へ新築移転。病床数119床に増床。 2000年：全面リニューアル。 2003年：一般59床を療養病床に転換。一般60床、療養59床。 2016年：一般10床を地域包括ケア病床に転換（1月）、更に6床を転換（10月） 2018年：一般10床を地域包括ケア病床に転換（10月） 現在一般34床、地域包括ケア26床、療養59床</p>

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	119 床	床	14 床	46 床	59 床	床
	平均在院日数	日	10.2 日	18.0 日	195.9 日	
	病床稼働率	%	80.9 %	94.2 %	91.4 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	119 床	床	14 床	46 床	59 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	<p>ケアミックス機能を維持し、急性期病院からの医療度の高い患者の受け入れ（ポストアキュート）と、クリニックや介護施設からの急性増悪患者の受け入れ（サブアキュート）を行ってゆきます。状況に応じて一般病床から地域包括ケア病床への更なる転換も検討します。</p>
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	6 科 (内科、外科、小児科、皮膚科、整形外科、放射線科)
------	---------------------------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	通町診療所	
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	通町診療所	

5. 当院の特徴について

特徴的な 在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> ・強化型在宅療養支援病院として、在宅患者230名（内24時間対応100名）に対して24時間365日在宅医療を行っています。 ・在宅療養をしながらも必要時には入院できるという安心感のもと、年間20件以上在宅での看取りも行っています。 ・小児の在宅患者への訪問診療も実施しています。 ・同一法人の居宅介護支援、訪問看護、訪問介護、訪問リハビリ等の事業所と連携し、患者の在宅生活を包括的に支える環境を整備しています。
特徴的な ケアミックス機能	<ul style="list-style-type: none"> ・一般（急性期一般入院料1）、地域包括ケア、療養の3種類の病床機能を有しており、医療度の高い患者を受け入れた後に療養し在宅復帰に繋げることが可能です。 ・言語聴覚士を複数名配置し、高齢者に多い嚥下障害に対して評価と訓練を積極的に行っています。 ・在宅機能を活かし、シームレスな退院支援を行っています。 ・病室の選定に当たっては病態や状況により判断しており、差額室料は徴収しておりません。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・内科、外科、小児科を中心に急性期医療を行っています。 ・年間600台前後の救急車を受け入れています。 ・在宅医療に力を入れており、入院から在宅まで切れ目のない医療提供を行っています。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアミックス機能を活かし、ポストアキュート、サブアキュートの受け入れを積極的に進めます。 ・川上から川下へ、病院から在宅・施設へと押し出される患者に対応するため、引き続き在宅機能の強化、拡充を図ります。 ・同一法人の介護事業所のほか、運営母体である生活協同組合の組合員による地域の見守りや助け合い活動と併せて安心してすみ続けられる地域づくりを展開してゆきます。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・1950年に診療所を開設して以来、いのちの平等を掲げて医療を行ってきました。入院時の差額室料は、開設当初から一貫していただいております。また収入など一定の条件に該当した場合に、医療費の自己負担分を減免する、無料低額診療事業も実施しています。 ・通院困難な患者様には個別送迎を行っているほか、必要は場合は訪問診療も行っています。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護事業者とも連携しながら医療提供を行ってまいります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人山崎会 サンピエール病院
所在地	高崎市上佐野町786-7
沿革	1946年 柳川町に山崎医院開設 1952年 上佐野町の烏川沿いに山崎病院を創設（精神病床28床） 1981年 認可病床が、一般病床4床、精神病床222床、計226床 1982年 現在地に移転したのを機に慈光会病院に名称変更 138床増床し、一般病床36床、精神328床、計364床 1984年 52床増床し、一般病床36床、精神病床380床、計416床 1986年 106床増床し、一般病床105床、精神病床417床、計522床 2006年 新病院竣工 サンピエール病院に名称へ変更 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計				
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	105 床	57 床	48 床		
平均在院日数(※1)	38.6 日	273.3 日			
病床稼働率(※2)	85.2 %	92.8 %			

※1 在棟患者延べ数(年間) / (新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	105 床	57 床	48 床				

2025年に向けた病床活用の見通し	
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	16 科 (内科 精神科 外科 整形外科 泌尿器科 循環器科 皮膚科 歯科 口腔外科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 リウマチ科 神経科 消化器科 肛門科 リハビリ科)
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地		周産期		小児	その他
	「その他」の具体的な機能							



将来(2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地		周産期		小児	その他
	「その他」の具体的な機能							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 	<ul style="list-style-type: none">・精神科疾患患者の身体合併症対応・BPSDを持つ重度認知症患者の診断と治療
特徴的な 	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none">・総合診療を行える精神科病院として、県内の精神症状を有する身体合併症を対応している。・認知症疾患センターとして鑑別診断、治療を幅広く行い、認知症治療病棟でBPSDを有する認知症疾患患者の対応をしている。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none">・精神科関連の身体合併症対応病院としての機能・認知症疾患疾患センターを中心にBPSD対応のできる機能
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団日高会 日高リハビリテーション病院
所在地	群馬県高崎市吉井町馬庭2204番地
沿革	平成13年 医療法人社団日高会 日高リハビリテーション病院 85床で開院 平成15年 第1回増床 93床 平成19年 第2回増床100床（回復期リハビリ病棟60床、一般病床40床） 平成27年 第3回増床104床（回復期リハビリ病棟60床、一般病床44床） 平成29年 地域包括ケア病床取得 8床（一般病棟内） 令和2年 地域包括ケア病床辞退 令和2年 回復期リハビリテーション病棟入院料1取得

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	104床	床	床	104床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	日	46.0日	日	日
	病床稼働率(※2)	%	%	91.0%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間） / （（新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2）

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	104床	床	床	床	104床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	今後も回復期として、回復期リハビリテーション病棟と一般病棟（地域一般3）の構成を基本とするが、地域の医療体制の変化により、再度、地域包括ケア病床の取得を検討する必要がある。
---------------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	6科（内科、循環器科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、皮膚科）
------	--------------------------------------

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の 具体的な機能	腎臓疾患、呼吸器疾患、血液透析、リハビリテーション、スポーツ外来									



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の 具体的な機能	現在の機能を継続する									

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	日高病院	高崎総合医療センター	公立富岡総合病院
主な紹介先医療機関	日高病院	公立藤岡総合病院	黒沢病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 回復期リハビリテーション病棟	回復期リハビリテーション病棟では、医師を中心に様々な専門家が一体となり治療をフォローしている。日常生活動作の向上による社会復帰を目的としたリハビリテーション治療を、発症後できる限り早期に集中的に行うための病棟。リハビリは365日体制で提供し、完全個別指導で、患者様の状態に合わせたリハビリを実施している。令和2年に回復期リハビリテーション病棟入院料1を取得
特徴的な 血液透析センター	腎臓内科の常勤医師3名を中心に、安全で十分な透析を受けて頂くため、患者様と一体になってチームで行う透析治療を実施している。日高病院との連携で合併症の予防や管理を行っている。自院でのPTAも実施。外来透析患者様は、ご自宅から病院までマイクロバス送迎サービスを行っている。（車椅子対応車両あり）

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・「患者様に満足と感動を」を理念に、患者様中心の親切な医療で質の高い医療を提供している。 ・地域唯一の病院として地域医療に貢献する。 ・57床の血液透析センターで200名以上の患者様に血液透析を実施。 ・60床の回復期リハビリテーション病棟の入院患者様に365日体制でリハビリテーションを提供している。 ・外来患者様へ、状態に合わせたリハビリテーションの提供を行っている。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には、急性期に対応できる地域の医療機関を目指す。また、急性期病院の後方支援を今まで以上に積極的に強化していく。そのため、地域包括ケア病床の再取得を検討していく。 ・回復期リハビリテーションでは、最上位の施設基準を維持し、リハビリの質を客観的に示すと同時に更なる質の向上を目指す。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・当院では心のかもった医療の提供を行い、専門性を活かしたリハビリテーションと血液透析の更なる発展とともに、地域医療に貢献します。 ・糖尿病、腎臓病、循環器科、呼吸器科、皮膚科、スポーツ外来をはじめ、地域のかかりつけ医として特徴のある医療機関を目指します。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団醫光会 駒井病院
所在地	群馬県高崎市矢島町449-2
沿革	昭和56年05月 駒井病院開設 86床 昭和62年09月 透析棟増築し110床、透析23台 昭和63年04月 医療法人化となる 平成18年04月 駒井病院医療療養病床100床、介護療養病床0床となる 平成23年06月 駒井病院透析センター新築完成 平成27年09月 地域包括ケア病床12床転換・H27.09 18床・H30.02 22床 平成30年10月 地域包括ケア病床7床増床29床

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	100 床	床	床	46 床	54 床	床
平均在院日数	日	日	52.6 日	245.7 日		
病床稼働率	%	%	78.2 %	90.7 %		

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	100 床	床	床	46 床	54 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も、これまで培ってきた総合的な高齢者医療・人工透析を中心として、リハビリテーション機能の充実を図り、在宅復帰への支援を積極的に行う事で、地域の人々の支えとなり、地域包括ケアシステムの一翼を担う慢性期医療機関を目指していく。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	6 科 (内科、腎臓内科、人工透析内科、神経精神科、整形外科、リハビリテーション科)
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期		小児		その他
	「その他」の具体的な機能								



将来(2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期		小児		その他
	「その他」の具体的な機能								

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	済生会前橋病院	日高病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	済生会前橋病院	日高病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 総合的な高齢者医療	<p>○内科・腎臓内科・神経精神科を軸に、特殊外来として腎臓・不眠症・物忘れ外来を行い、地域包括ケア病床29床を含む慢性期病床100床を有する総合的な高齢者医療を提供している。</p> <p>○透析センターを有し、高齢者や精神疾患、認知症の方にも安心して透析医療が受けられるよう、きめ細やかな対応力の充実を心がけて提供している。</p>
特徴的な チーム医療	<p>○医師、看護師、薬剤師、リハビリ専門職、栄養士、介護福祉士、地域連携室スタッフ等、多職種が退院支援やリハビリ・退院前・入院継続等のカンファレンスに関与し、チーム医療を推進している。専門チームとして、褥瘡・感染対策・NSTに取り組んでいる。</p> <p>○当院では、身体抑制はしない方針で多職種が協力して対応している。また、高崎市の委託により、認知症初期集中支援チームを設立し活動を行っている。</p>

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>○慢性期医療機関として、急性期医療機関や地域の病院、クリニック、介護施設からの紹介を主に入院患者様の受入を行っている。</p> <p>○在宅復帰機能強化加算を算定している療養病床と、地域包括ケア病床により、高齢者医療を総合的にを行い、在宅復帰への支援を積極的に行っている。</p> <p>○当院は、地域の需要、要望に応じた急性期医療にも対応している。</p>
当院の未来像	<p>○法人として運営している医療機関、介護施設、居宅系施設と医療・介護の連携を図り、専門的な多職種による医療機能・介護機能・リハビリ機能を高め、更に訪問看護・訪問リハビリの内容を充実させ、退院後の生活にも引き続き支援できる体制を強化していく。</p> <p>○内科・精神科医師や認知症認定看護師などとの連携を図り、更に認知症への専門性を高める。</p> <p>○整形外科常勤医師を確保し、高齢者医療における万全な体制を充実させる。</p> <p>○当院の機能にふさわしい人材の育成を図ると共に、設備・医療機器・環境を整えていく。</p> <p>○慢性期医療機関としての特徴を生かして、地域の方々を対象とした講演会、健康講座、体操教室、介護教室、また地域の施設を対象にした透析に関する勉強会などを開催し、地域の方々の支えとなる施設を目指していく。</p> <p>○災害時に地域と連携を図る仕組みを充実させて、地域医療機関としての役割を果たす。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>《県民・受診者へのメッセージ》</p> <p>理念である「やさしさ・やすらぎ・生きがい」に出会う医療を礎に、総合的な高齢者医療・高齢者透析・在宅復帰機能などを中心に活動しております。慢性期医療機関・介護老人保健施設・介護付有料老人ホーム・訪問看護・訪問リハビリ・通所リハビリ・グループホーム・デイサービス・居宅支援事業所・地域包括支援センターなど医療・療養・在宅機能を包括的に支援する機能を備えております。患者様やご家族様、連携医療機関が安心して選択、紹介していただける「選ばれる病院、施設」を目指し努力してまいります。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人ゆかり たかまえ病院
所在地	群馬県高崎市中尾町1230番地
沿革	1997年：一般病棟49床、療養病棟50床 計99床にて開設 2019年1月：医療法人社団前橋会 高崎ハートホスピタルへ名称変更 標榜科：循環器内科 内科 心臓血管外科 腎臓内科 人工透析内科 2022年10月：病院機能転換 標榜科：内科 2023年4月：医療法人ゆかり たかまえ病院へ名称変更 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	99 床	床	49 床	床	50 床	床
平均在院日数		日 11.2 日		日 66.5 日		
病床稼働率		% 41.0 %		% 77.0 %		

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	99 床	床	49 床	床	50 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	①リハビリテーションの充実を図る ②療養病棟稼働率の向上 ③緩和ケア・ターミナルケア患者の受入促進
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	1 科 (内科)
------	------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	訪問診療、訪問リハビリテーション				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	訪問診療、訪問リハビリテーション				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	関越中央病院	高崎総合医療センター	済生会前橋病院
主な紹介先医療機関	関越中央病院		

5. 当院の特徴について

特徴的な 地域密着	発熱、咳、頭痛、動悸等の症状から、生活習慣病などの慢性疾患まで、内科全般を幅広く診療し、地域に密着した医療を心がけています。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	患者さんの症状毎に適切な治療が受けられるよう、一人一人の患者さんと向き合い診療を行っています。 重装備で潤沢なマンパワーが必要な高度急性期～急性期ではなく、回復期～慢性期の患者さんを対象に効率的で良質な医療を提供することを役割としています。
当院の未来像	①外来診療体制の強化 ②救急患者受け入れの強化 ③リハビリテーションの充実を図る（呼吸器リハビリテーションの強化） ④療養病棟稼働率の向上 ④緩和ケア・ターミナルケア患者の受入促進
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	発熱、咳、頭痛、動悸等の症状から、生活習慣病などの慢性疾患まで、内科全般を幅広く診療し、地域に密着した医療を心がけていますので、些細な事でもお気軽にご相談ください。 どこの診療科にかかれば良いのか迷っている方にはその病態・疾患に対する専門の医療機関や適切な診療科のご紹介もいたしますので、安心して受診してください。 地域医療と密に連携し、群馬県民の生活基盤をつくります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人関越中央病院
所在地	群馬県高崎市北原町71番地
沿革	1987年2月 医療法人関越中央病院を創設（一般病床78床） 1995年12月 新館を増築（個室の増築、食堂兼ホールを新設）腎臓透析科開始 1997年4月 一般病床81床 1999年4月 一般病床93床 1999年9月 医療法人関越中央病院地域ケアセンター開設 2000年12月 手術・診断・治療棟を増築 2006年2月 一般病床116床 2008年6月 一般病床90床 2012年11月 医療法人関越中央病院 介護・福祉村北原の里 開設 2020年9月 地域包括ケア入院医療管理料2を届出（10床） 2021年8月 介護部門の統合（地域ケアセンターと北原の里の事業統合） 2022年10月 地域包括ケア入院医療管理料2を35床届出

2. 病床について （病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計						廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等			
	90 床	床	90 床	床	床	床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	17.0 日	日	日	日		
	病床稼働率(※2)	%	88.3 %	%	%	%		

将来 (2025年)	合計						廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等			
	90 床	床	90 床	床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し
 群馬郡医師会を中心とした旧群馬郡地域完結型システムに向け、地域包括ケア病棟の設置を目標にして、地域医療に貢献したい。

3. 医療機能について

診療科目	15 科 (内科、外科、循環器内科、消化器外科、糖尿病内科、内分泌内科、呼吸器内科、人工透析科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線診断科、麻酔科)							
現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療		
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他		
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション・人間ドック・各種健康診断・生活習慣病予防健診・予防接種					

将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療		
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他		
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション・人間ドック・各種健康診断・生活習慣病予防健診・予防接種					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	日高病院	前橋赤十字病院	高崎総合医療センター
主な紹介先医療機関	日高病院	前橋赤十字病院	高崎総合医療センター

5. 当院の特徴について

特徴的な 循環器内科の総合 病院	不整脈、虚血、高血圧及び動脈硬化への治療の取組みを強化しており、ペースメーカー植込み・交換、急性冠症候群、狭心症の診断・治療、ABPM検査による高血圧の管理、動脈硬化症の治療等を行っています。
特徴的な 消化器外科による 治療	胃、大腸内視鏡、ERCP、胆嚢、胃、大腸の腹腔鏡下手術を積極的に行っています。また、早期がんの内視鏡的治療を進めています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域の医療機関として循環器内科・消化器外科を中心とした病院であり、専門外来を行っていますが、循環器、消化器以外の疾患にも対応しています。二次救急医療機関として、中症度患者様の受け入れを365日24時間対応できる体制をとっており、緊急手術等も対応しています。緊急以外の患者様の対応も受け入れております。
当院の未来像	患者様の入院生活を快適に過ごしていただくために環境整備を行い、病院建て替えを計画します。また、医師含む職員を充実させ、救急体制を充実し地域の皆様の期待にお答えできる体制を作ります。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	地域の皆様が受診しやすい病院を目指しております。早期発見、早期治療を行えるように、各種健康診断、人間ドックも強化し患者様が必要と思われるサービスを提供させていただきます。外来-入院-在宅まで一貫した専門職員が対応させていただきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人中央群馬脳神経外科病院
所在地	群馬県高崎市中尾町64-1
沿革	昭和63年4月個人病院として創設者 故中島英雄 が中央群馬脳神経外科病院」を開設 診療科目：脳神経外科・麻酔科・リハビリテーション科 病床数：78床 平成9年9月 病床数88床に増床（一般病床52床・療養病床36床） 平成11年3月 法人設立 医療法人中央群馬脳神経外科病院となる 診療科目：脳神経外科・麻酔科・リハビリテーション科 脳卒中ケアユニット6床 急性期一般病棟46床 回復期リハビリテーション病棟36床を有し、現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	88 床	6 床	46 床	36 床	床	床
	平均在院日数	9.8 日	12.5 日	50.3 日	日	
	病床稼働率	81.7 %	55.4 %	83.0 %	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	88 床	6 床	43 床	39 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現在、一般病床は許可病床数46床のうち稼働は直近1年をみても30床を超えることが無く稼働率が70%を下回っている一方で回復期リハビリ病床は許可病床数36床で直近6か月平均稼働率85%前後の30床稼働となっている。回復期病床が3床増えること(36床→39床)で受け入れ枠が増えベッド調整がしやすくなり、リハビリが必要な患者の受け入れを増やすことができる。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	3 科 (脳神経外科病院 麻酔科 リハビリテーション科)
------	--------------------------------

現在	がん	○	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション							



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	前橋赤十字病院	群馬大学付属病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター		

5. 当院の特徴について

特徴的な 脳卒中治療	脳卒中ケアユニット・急性期病床・回復期リハ病棟を有し、脳卒中発症直後の救急対応から回復期までシームレスな脳卒中医療を一つの施設で提供し、多くの患者様の社会復帰の手助けを行っている
特徴的な リハビリテーション	多数のリハビリスタッフを要し、超急性期から回復期まで手厚いリハビリテーションを提供している。回復期リハビリテーション病棟の直近の実績指数は59.1と治療成績も良好であり、群馬県脳卒中連携パスのリハビリ目的転院の受入患者数は、総数及び重傷者数共に県内有数であり、他医療機関から高く評価されているものと考えている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	脳神経外科およびリハビリテーションの専門病院として、脳卒中発症直後の救急対応から回復期までシームレスな医療を一施設で提供し、多くの患者様の社会復帰の手助けを行っている。
当院の未来像	脳神経外科およびリハビリテーションの専門病院として、今後は更なるリハビリテーション体制の充実を図り、脳卒中に対する急性期から回復期・維持期に渡るシームレスな医療提供に加え、今後増加が予想される運動器症候群に対するリハビリテーションにも力を注ぎたいと考えている。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	回復期リハビリテーション終了後もADLの維持に向け、介護保険事業の通所リハビリ・訪問リハビリ等を通じ、脳卒中維持期のリハビリテーションを提供している。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人井上病院
所在地	群馬県高崎市通町55番地
沿革	昭和22年：井上外科医院として現在地に開院 昭和39年：救急指定病院の認定、外傷の救急医療を担う急性期病院として稼働 昭和56年：井上外科病院より井上病院に改名、整形外科を併設 平成19年：一盤病床（急性期）9床を増床し、計69床 平成26年：一般病床（急性期）10床を増床し、計79床 平成27年：一般病床（急性期）6床を増床し、計85床 平成29年：一般病床（急性期）43床、一般病床（回復期）42床に変更 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	85 床	床	床	85 床	床	床
平均在院日数(※1)	日	日	21.9 日	日	日	
病床稼働率(※2)	%	%	85.6 %	%	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	85 床	床	床	85 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も救急医療を中心に高度な医療を提供していくとともに、救急医療を終えた患者様に対するリハビリテーション機能の充実を図る。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	8 科 (内科、整形外科、リウマチ科、消化器科、呼吸器科、循環器科、リハビリテーション科、腎臓内科)
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、人間ドック等健康診断						



将来(2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、人間ドック等健康診断						

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	黒沢病院附属ヘルスパーククリニック	群馬大学医学部附属病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	群馬大学医学部附属病院	前橋赤十字病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 関節リウマチのトータルケア	リウマチ治療の豊富な臨床経験から導き出されたチーム体制で、最善の治療を行っております。 リウマチ専門の通院施設やチーム医療で、長期に及ぶ治療のサポートを行っております。
特徴的な リハビリ	医療とリハビリを同時に提供できる介護老人保健施設を1施設、リハビリ特化型デイサービスセンターを院内に1施設、高崎市内に2施設、前橋市内に1施設開設し、リハビリ（運動療法）を提供しております。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域密着型の病院として「住人とともに歩む」を理念とし、診療を行っており、群馬県の医療計画に沿って西毛地域で唯一の整形外科の救急指定病院として、365日体制で救急医療を行っている。 また、令和3年度から脊椎専門医による診療を開始。 令和5年度から常勤医2名増員予定（整形外科・消化器科）のため、より一層の診療体制の充実を図る。
当院の未来像	人間ドック等健康診断にも力を入れ、患者様の病気を早期に発見できるよう予防医学に取り組む。 リハビリテーションルームの増設を行い、救急医療から社会復帰の援助まで一貫した医療提供体制を構築する。 地域の病医院との連携を深め、患者様にとって利便性の高い病院を目指す。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	24時間体制の整形外科救急対応と最新のリウマチ治療を中心に親切・丁寧をモットーとした治療を提供しております。 また、患者様の高齢化に対応すべく、高崎市井野町に介護老人保健施設「太陽」および「群馬リウマチクリニック」を開設するなど、退院後の生活に不安をお持ちにならないようなサービスにも心掛けております。 快適な療養生活をご提供できるように職員一同努力しております。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	産科婦人科館出張佐藤病院
所在地	群馬県高崎市若松町96番地
沿革	江戸時代中期1740年ごろ高崎藩の藩医となる 明治初期 館出張佐藤病院となる 平成9年全面新築（84床） 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	84 床	床	84 床	床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	4.7 日	日	日	日
	病床稼働率(※2)	%	41.9 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	77 床	床	77 床	床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	女性の生涯にわたる専門病院として、周産期医療を中心とし、婦人科領域では腹腔鏡手術を積極的に取り組んでいく。周産期医療が集約化される中、今後も群馬県の中心として展開していく。 今後は分娩数の減少が進んでいくことから、病床数の見直しを検討し、授乳スペースや相談コーナー、産後ケアをフォローするための施設整備などを計画していく。
---------------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	3 科 (産婦人科、麻酔科、小児科)
------	----------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		婦人科良性疾患			



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		婦人科良性疾患			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	矢崎医院	豊泉クリニック	こすもレディースクリニック
主な紹介先医療機関	群馬県立小児医療センター	高崎総合医療センター	群馬大学附属病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 女性のサポート	女性の生涯にわたる専門病院として、周産期医療を中心に、思春期から更年期老年期まで、全ての女性の健康をサポートしている。また、栄養療法など予防医学面からのサポートを積極的に行い、プレコンセプションケア（妊娠しやすい体づくり）に注力している。
特徴的な 周産期医療と最新医療	年間分娩数は、約1500件あり、群馬県の12.5%（令和2年概数）となる。高崎市を中心に群馬県内、埼玉県、長野県なども医療圏としている。また、婦人科良性疾患においては腹腔鏡手術を積極的に行っている。研修医をはじめ、県内の大学や看護学校からの実習を受け入れている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> • すべての女性を健康に美しくすべく、温かみのある看護とサービスとともに最新医学を取り入れた質の高い医療を提供している • 周産期医療を中心に年間分娩数約1,500件 • 栄養療法を中心に、予防医学にも力を入れており、プレコンセプションケアを展開している
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> • 周産期医療の集約化に伴い、群馬県周産期医療の中心として地域医療に貢献していく • 周産期だけでなく、思春期や更年期老年期など女性の生涯にわたる専門病院をして貢献していく • 予防医学を取り入れたプレコンセプションケアを中心に、医療だけでなく、より良い社会づくりにも貢献していく • SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する活動に取り組み、次世代が健康で活躍できる社会の実現を目指していく
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> • 女性の生涯にわたる専門病院として、全ての女性が健康で美しくなっていくために温かみのある看護とサービスとともに最新医学を取り入れた質の高い医療を提供していきます • 予防医学を取り入れたプレコンセプションケアを中心に、医療だけでなく、より良い社会づくりにも貢献していきます • 理念、基本方針のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する活動に取り組み、次世代が健康で活躍できる社会の実現を目指していきます

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人刀陽会 綿貫病院
所在地	群馬県高崎市末広町4-1-1
沿革	<p>* 明治45年1月：高崎市嘉多町にて入院設備を持つ医院を開業 * 昭和52年6月：医療法人刀陽会を設立 一般病床（90床） * 平成24年4月：全床療養病床（80床）とする * 平成27年3月：高崎市末広町に移転現在に至る</p>

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	80 床	床	床	床	80 床	床
	平均在院日数	日	日	日	424.4 日	
	病床稼働率	%	%	%	96.2 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	80 床	床	床	床	80 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も高齢化社会に対応しつつ在宅に帰ることが難しい患者様のために地域医療、慢性期医療を中心に貢献していきたい。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	5 科 (内科・外科・泌尿器科・消化器外科・リハビリテーション科)
------	-------------------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期		小児	その他
	「その他」の具体的な機能							



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期		小児	その他
	「その他」の具体的な機能							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	日高病院	群馬大学付属病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	日高病院	高瀬クリニック

5. 当院の特徴について

特徴的な コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 全床療養病床であり患者様と向き合う時間が比較的長くとれ慢性期病院の特徴が十分発揮出来る。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 急性期医療を終えたけれど在宅、施設に帰ることが難しい患者様の受け入れをしている。 外来透析治療の患者様が通院が困難になり入院が必要となった場合は引き受けられる。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 今後も高齢化社会に対応しつつ在宅に帰ることが難しい患者様のために地域医療、慢性期医療を中心に貢献していきたい。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人仁和会 野口病院
所在地	群馬県高崎市請地町38番地
沿革	昭和40年 野口外科病院（急性期一般病床 30床 救急指定） 昭和47年 66床に増床 平成25年 50床として現在の建物に新築

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	50 床	床	50 床	床	床	床
平均在院日数(※1)		日	11.6 日	日	日	日
病床稼働率(※2)		%	80.0 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間） / （（新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2）

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	50 床	床	50 床	床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	今後も外科・整形外科を中心とした急性期医療を展開していく。 特に消化管に対する内視鏡検査を行って検査・治療にあたる。また、肛門疾患に対しては、計画的な入院手術等による治療体制を継続していく。 整形外科領域では、骨折等の急性期疾患に対応し、その後は急性期を脱した患者に対するリハビリテーションにも引き続き力を入れていく。 令和2年から地域包括ケア病床を導入し、これを効果的に運用する。
---------------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	9 科（外科、整形外科、胃腸内科、胃腸外科、肛門内科、肛門外科、 脳神経外科、リウマチ科、リハビリテーション科）
------	---

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の 具体的な機能	リハビリテーションと退院支援									



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の 具体的な機能	リハビリテーションと退院支援									

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	日高病院	植原整形医院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	済生会前橋病院	群馬中央病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 救急体制	外科、整形外科を中心とした受け入れ態勢を維持し、消化器症状から交通外傷、労働災害等広く受け入れを行っている。
特徴的な 対応力の高さ	小規模ではあるが、スタッフ一人一人の資質の向上を図っており、多職種による連携により様々な病態に対応できる体制を整備している。 医療連携室の稼働により入院受け入れ時から退院までを支援し、在宅復帰を積極的に進めている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・救急病院として救急患者受入体制を維持している。 ・高崎総合医療センターをはじめ、多くの病院・医院と連携を図り、必要に応じて患者の紹介・受入を行っている。 ・小規模であることを強みとし、風通しの良い職場環境を維持している。 このことは、療養環境を良好に保つこととつながっている。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄積してきた症例による経験を生かし、医療に係る手技の更なる向上や、最新の医療機器を導入することで診断と治療のレベルを上げる。 ・高度急性期病院との連携を更に強化し、地域の患者の受け皿となるよう、体制の強化を図る。 ・地域包括ケア病床を更に充実させ、安心して療養できる環境を構築し、退院時には自宅へ帰ることで生活環境の向上に寄与する。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	平成25年に新築しており、今後も気持ちの良い環境で治療が受けられるよう努めてまいります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人社団大原会 大原病院
所在地	群馬県高崎市飯玉町46
沿革	昭和31年：当地にて大原医院として開院 19床 昭和52年：医療法人社団大原会大原病院 一般病床（急性期）45床に変更 平成8年：療養病床45床に変更 令和元年11月：新病棟へ移転 療養病床45床 令和2年9月：リハビリテーション科新設

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	45 床	床	床	床	床	45 床
	平均在院日数(※1)	日	日	日	202.5 日	
	病床稼働率(※2)	%	%	%	80.7 %	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	45 床	床	床	床	床	45 床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	急性期医療を経ても、在宅や施設生活困難者の療養。 リハビリテーション科を新設したので、回復期病床を計画している。 在宅中に療養入院を要する方への支援。 難治性疼痛の治療をリハビリも活用して、ペインクリニック科的入院治療をする。
---------------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	6 科 (内科・外科・麻酔科・ペインクリニック内科、外科・リハビリテーション科)
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	日高病院	黒沢病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	日高病院	黒沢病院

5. 当院の特徴について

特徴的な あらゆる痛みの 治療	緩和ケア病床とは異なる治療が可能。腰痛、肩の痛み、上肢・下肢の痛み、带状疱疹などの痛みから、癌による強い痛みまで、入院して治療することが可能である。
特徴的な 療養病床	在宅、施設入所が困難な患者の方々、人工呼吸器使用中の方、癌末期の方などの看護・介護及び終末期ケアの対応が可能。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	ペインクリニック外科・ペインクリニック内科による治療と、内科の慢性疾患治療、健康診断等を実施している。
当院の未来像	新病院が完成し設備面を含め環境的に著しく改善された。早期発見のための健康診断や早期治療につなげる専門医との連携を図るとともに、リハビリテーション科を新設したので、ペインクリニックとリハビリテーションを連携させた治療を充実させていく。また入院患者に対するリハビリも開始したので、療養病床における治療・看護・介護をより充実させたものにしていく。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	痛みの治療の専門家の存在を医療関係者にも認識して頂けるよう、啓蒙活動も含め発信していきたい。そして、一時的な痛みを取り除くのではなく、痛みの悪循環を断ち切り、平穏な日常生活を送れることを第一の目標にしていることへの理解を深めたい。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人十薬会 上大類病院
所在地	群馬県高崎市上大類町759
沿革	1976年 9月 上大類診療所（内科・小児科）病床8床にて開設 1981年 4月 20床に増床し上大類病院病院に変更 1990年 4月 病院を現住所に移転、老人保健施設若宮苑（50床）を併設 1991年 4月 高崎市より在宅介護支援センター若宮苑を受託 1997年10月 20床から25床に増床 1999年 4月 居宅介護支援事業所上大類在宅ケアセンター併設

2. 病床について （病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	25 床	床	25 床	床	床	床
	平均在院日数	日	20.0 日	日	日	日
	病床稼働率	%	80.0 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	25 床	床	25 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	急性期の治療を主軸として提供する他、医師体制の充実を図り、在宅療養支援病院への意向を目指す予定。また、短期間で長期的なケアマネジメントが困難な患者様を対象とした急性期病院の後方支援病院として、或いは、概ね数日から数週間以内と診断されたターミナル末期患者様の看取り（場合に依りて在宅での看取り）を提供するための体制及び人材育成を継続してゆく。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	4 科（内科、循環器科、小児科、精神科）
------	----------------------

現在	○ がん	脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	○ 精神疾患	○ 在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○ 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	○ がん	脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	○ 精神疾患	○ 在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○ 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	日高病院	高崎総合医療センター	
主な紹介先医療機関	日高病院	高崎総合医療センター	

5. 当院の特徴について

特徴的な チームケア	上大類病院の他、併設の介護老人保健施設及び居宅介護支援事業所上大類在宅ケアセンター、高崎市高齢者あんしんセンター若宮苑の各担当者（概ね15名）によるケア委員会を毎週開催して情報の共有および適宜ケース検討を行い、小児から高齢者までの幅広い年齢層において、施設療養から在宅介護、在宅医療まで一貫したサービスを提供できる体制を整えている。
特徴的な 認知症ケア・ターミナルケア	介護老人保健施設を併設していることから、要介護高齢者の入院が多数を占めます。その中でも、特に認知症を有する患者様の治療においては、認知症ケア専門棟のノウハウや、法人内の抑制廃止委員会、事故対策委員会と共同して、対応しております。他医療機関からの信頼もあり、「上大類病院でしか受けてもらえないだろう」等、比較的重度の認知症を有する患者様の紹介を受けることが多々あります。また、看取りに関しましては、ターミナルケア委員会を組織し、積極的な治療より疼痛緩和や家族関係の融和に力を注ぎ、本人家族共に穏やかな看取りが行えるよう支援しております。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	平成2年に介護老人保健施設を併設して以来、併設の居宅介護支援事業所や高崎市高齢者あんしんセンターと連携し、地域包括ケアの実践に取り組んできました。しかし、在宅ケアの一翼を担っていた訪問看護ステーションを経営面での事情で閉鎖したこと。また、外来常勤医師の高齢化等も加わり、在宅ケアに取り組むためのマンパワー不足が否めない状況です。また、周辺地域におけるサービス付高齢者住宅の急増に伴い、この間、在宅を拠点として施設等を利用しつつ、日常的な医療管理は上大類病院で行っていたが患者、施設利用者が軒並みサービス付高齢者住宅へと入居してゆくと、外来・入院そして施設利用者の減少が著しく、新規患者の獲得に苦心している状況です。
当院の未来像	総合的には、急性期病院としての役割を維持してゆきつつ、医師体制を主軸とした人的、その他必要な体制を整え、在宅療養支援病院への移行を目指す予定です。また、短期間で長期的なケアマネジメントが困難な患者様を対象とした急性期病院の後方支援病院として、或いは、概ね数日から数週間以内と診断されたターミナル末期患者様の看取り（場合に依りて在宅での看取り）を提供するための体制及び人材育成を継続してゆく予定です。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	私たちが特に力を入れて取り組んでいるのが「地域包括ケア」です。子供からお年よりまで、また深刻な障害を抱えた方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療と介護(福祉)とを密に連携させることによって、入院が必要な場合等、万が一の場合にも迅速に対応いたします。

2025年への対応方針

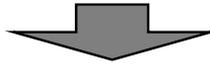
1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 済恵会 須藤病院
所在地	群馬県安中市安中3532-5
沿革	昭和54年に30床にて、医療法人済恵会 須藤病院開設 昭和60年に40床、昭和63年に60床へと増床 平成7年老人保健施設開設に伴い、50床へ減少平成9年病床整備計画により5床増床し、55床へ 平成12年療養型病床群開設 20床増床し、75床へ 平成20年病院新築移転 20床増床（一般病棟68床・療養病床27床）95床へ 平成28年25床増床（一般病棟48床・回復期リハビリテーション病棟41床・療養病床31床）120床へ

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	120 床	床	48 床	41 床	31 床	床
平均在院日数	日	13.7 日	55.2 日	203.5 日		
病床稼働率	%	85.1 %	70.9 %	87.9 %		



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	120 床	床	48 床	41 床	31 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	当院の使命として、安中地区における2次救急への対応と3次救急に対する患者の選別。また、急性期治療を終えた患者に対しての回復期リハビリテーション病棟・療養病棟については、これまでと同様に行っていききたい。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	22 科 (内科、外科、消化器内科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、リハビリ科、循環器内科、乳腺外科、内分泌内科、糖尿病内科、呼吸器内科、心臓血管外科、大腸・肛門外科、肝臓内科、眼科、麻酔科、乳がん-呼吸器科、呼吸器外科)
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、検診、在宅支援				



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、検診、在宅支援				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	富岡総合病院	群馬大学医学部附属病院
主な紹介先医療機関	安中市内の9連携診療所		

5. 当院の特徴について

特徴的な 診療の提供	<p>広く安中地区の住民から支持を得ている。外来患者数は、1ヶ月 5,000件近くとなり、内科・外科・脳神経外科・整形外科・呼吸器科・乳腺外科・眼科・放射線診断など、専門的な医師がチームを組み診療にあたっている。</p>
特徴的な 医療介護連携	<p>当院では後方ベット、つまり介護老人保健施設・ケアハウス・介護付有料老人ホームを持ち、医療から介護まで一体的な体制をつくっている。</p>

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>外科系医師が2名、令和2年4月に増員。外科診療の充実がはかれるている。内科系の医師補充、麻酔科医師の補充などを目指したい。</p>
当院の未来像	<p>昨年・本年と、外科系若手医師が入職し手術件数が増している。今後さらに手術件数は増加すると思われる。</p>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>今後さらに地域全体で、医療と介護の充実・連携をはかりたい。当院を中心に9つの診療所がチームを組み、現在も地域包括ケアの展開を行っているところである。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	公益財団法人 群馬慈恵会 松井田病院
所在地	群馬県安中市松井田町新堀1300-1
沿革	昭和3年1月、当時の国民病であった結核の治療と予防のための結核療養所として開設されたのが始まりです。 昭和30年に129床に増床し県内外の結核患者の治療にあたってきました。また、同年、結核の早期発見のための巡回検診をいち早く開始しました。昭和31年に無料低額診療施設の指定を受けて以来、所得の低い方への医療にも力を入れています。 平成に入ってから、平成12年・療養病棟を新設、平成15年・併設の老人保健施設を開設、平成27年・人工透析を開始、平成29年・整形外科と耳鼻いんこう科を拡充、など、地域のニーズに応じた医療の提供に努めております。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	109 床	床	床	床	109 床	床
	平均在院日数	日	日	日	63.1 日	
	病床稼働率	%	%	%	94.4 %	



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	109 床	床	床	床	109 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	<ul style="list-style-type: none">●旧松井田町地域において唯一の病院であることから、急性期から回復期を担う一般病棟（特に回復期に対応する地域包括ケア病床9床を含み計54床。）、回復期から慢性期を担う療養病棟、それぞれの病床数について維持する必要があるのではないかと予測しております。●現時点でも、一般病棟および療養病棟においてリハビリテーションに力を入れておりますが、寝たきりを防ぎ、ご自宅に戻られるため、回復期における集中的なリハビリテーションなど回復期機能の充実を図り、対応する病床を確保する必要があると考えています。 ※別途、医療法第7条第2項第3号に規定する結核病床（当院の許可病床：10床）を有しています。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	14 科 (内科・外科・整形外科・耳鼻いんこう科・呼吸器内科・呼吸器外科・消化器外科・腎臓内科・人工透析内科・リウマチ科・糖尿病内科・循環器内科・アレルギー科・リハビリテーション科)
------	---

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		結核の治療 ・ 認知症患者様の対応 ・ リハビリテーション ・ 企業の従業員や自治体の住民に対する健診（バスを用いた巡回検診を含む。）			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		結核の治療 ・ 認知症患者様の対応 ・ リハビリテーション ・ 企業の従業員や自治体の住民に対する健診（バスを用いた巡回検診を含む。）			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	安中市内の診療所・病院	高崎総合医療センター	公立富岡総合病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	公立富岡総合病院	群馬大学医学部附属病院

5. 当院の特徴について

特徴的な コミュニティホスピタル	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟においては、軽症急性期から慢性期までの診療を行っており、地域包括ケア病床も有しています。高齢の患者様の比率が高くなっています。 ●外来診療にも力を入れ、往診や訪問診療といった在宅医療にも力点を置いており、患者様のご自宅のほか、地域の施設等での診察も実施します。 ●地域の診療所・施設や、当院併設の老健・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション、系列の特別養護老人ホームなどと連携し、地域の方々に必要な医療・介護を提供してまいります。
特徴的な 総合診療	<ul style="list-style-type: none"> ●当院は、総合的に診療を行い、全人的な医療を遂行する医師が多く所属していることが特徴です。 ●一般外来においては、夕方診療を実施するなど、多くの方が受診しやすい環境を整え、地域のみなさまにプライマリ・ケアを提供しています。 ●専門外来においては、各医師の専門領域を生かし、呼吸器疾患、消化器疾患、循環器疾患、腎臓疾患、リウマチ性疾患などの各領域について、積極的な診療を行っています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ●松井田地域においては、高齢化が進み、65歳以上の割合を示す高齢化率は42.2%（平成27年国勢調査）と非常に高い値となっています。このような状況において、特に、機能の維持回復のためのリハビリテーション、認知症への対応、終末期の対応などが求められています。 ●外来や病棟でのリハビリのほか、併設老人保健施設「せせらぎ苑」でのリハビリの提供、理学療法士や作業療法士等による訪問リハビリなどを提供しています。 ●看護職員を中心に、認知症への理解を深め、認知症の患者様に対する医療の充実を図っています。 ●在宅まで含めた、終末期の医療の提供を行っております。 ●西毛地区で唯一の結核病床を有し、結核の診療を行っております。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ●2025年までの間、松井田地域においては、急速に人口が減少する一方、高齢者の人数は増え、医療や介護のニーズは高まります。 ●当院は、松井田地域唯一の病院として、他の医院・施設や、行政、医師会などと協力して、地域のニーズに応じた医療介護を提供し続けます。 ●当地域において、在宅医療を含めた良質なプライマリケアを提供するべく、総合診療・家庭医療、リハビリテーションの機能を強化し、また、各分野の診療を継続します。 ●65歳未満の人口、特に若年層が減少する中で、医療・介護に関わる人材を育成します。定期的な勉強会参加など教育への投資を行います。 ●結核に対する診療を継続できるよう努めます。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は、地域の医院や施設と連携して、質の高い、医療・介護を提供して行きます。 ・当院は、地域のみなさまに、「かかりつけ医」としての機能を提供します。 ・当院は地域の皆さまのニーズに応え、人工透析（送迎有り）、整形外科、耳鼻いんこう科などを拡充しています。

医療機能について（詳細）

がん

(1) 予防

- ・ 各種がん検診の実施
- ・ 禁煙外来の実施

(2) 治療等

- ・ 血液検査、画像検査（エックス線検査、CT、超音波検査、内視鏡）
- ・ 紹介を受けた患者様の診療
- ・ 緩和ケアの実施
- ・ がん患者への在宅医療の提供

脳卒中

(1) 予防

- ・ 高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、喫煙、過度の飲酒等の基礎疾患および危険因子の管理
- ・ 突然の症状出現時における対応について、本人および家族等患者の周囲にいる者に対する教育、啓発

(2) 回復期

- ・ リハビリテーションの実施（病棟）
- ・ 再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理
- ・ 誤嚥性肺炎等の合併症の予防…主治医、耳鼻いんこう科医師、言語聴覚士、看護師等がチームで、嚥下機能の評価などを実施

(3) 維持期

- ・ リハビリテーションの実施（訪問リハビリ・併設老健）
- ・ 再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理
- ・ 誤嚥性肺炎等の合併症の予防

心血管疾患

(1) 予防

- ・ 高血圧、脂質異常症、喫煙、糖尿病等の危険因子の管理
- ・ 初期症状出現時における対応について、本人および家族等患者の周囲にいる者に対する教育、啓発

(2) 回復期・再発予防

- ・ リハビリテーションの実施（病棟）
- ・ 再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理
- ・ 再発予防の検査の実施
- ・ 在宅等への復帰の支援および在宅復帰後の在宅療養継続の支援
- ・ 再発予防などに関し必要な知識を教えること

糖尿病

(1)初期・安定期

- ・糖尿病の診断および生活習慣の指導
- ・糖尿病外来の実施
- ・糖尿病教室の実施
- ・糖友会（糖尿病患者組織）の支援
- ・低血糖およびシックデイにおける対応について、本人および家族等患者の周囲にいる者に対する教育、啓発

(2)専門治療

- ・75gOGTT、HbA1c 等糖尿病の評価に必要な検査の実施
- ・教育入院の受け入れ
- ・食事療法、運動療法の指導
- ・他の病医院との連携

(3)重症急性増悪時治療

- ・糖尿病昏睡等急性合併症の治療

(4)重症急性増悪時治療

- ・糖尿病性腎症に対する専門的な検査、治療の実施
- ・尿一般検査、尿中微量アルブミン量検査、腎臓超音波検査の実施
- ・血液透析の実施

在宅医療

(1)かかりつけ医としての往診の提供

- ・かかりつけの患者様の求めにより、往診を実施

(2)訪問診療

- ・併設の訪問看護ステーションや、近隣の訪問看護事業所、訪問介護事業所、訪問薬剤師などと連携しての訪問診療の提供
- ・退院後、主治医が継続しての訪問診療の実施

(3)在宅患者の支援

- ・訪問診療を含むかかりつけの患者様の入院の積極的な受け入れ

救急

- ・救急医療に関しては、当院の常勤医のみでは対応しきれないため、群馬大学より非常勤医師を派遣していただき、夜間を含めた救急医療に対応しております。

へき地

- ・旧松井田町地域唯一の病院として、医療の提供を継続します。
(半径 5,000m 圏内人口：20,075 人（平成 27 年国勢調査）)

結核

- ・西毛地域唯一の結核病床を維持しております。
- ・結核患者様の人工透析に対応可能です。

健診

- ・安中市内唯一の巡回健診（バス等を用いた健診）実施機関です。
- ・日本初の「低床式ノンステップ車いす対応胸部検診バス」を共同開発す

るなど、障がいをお持ちの方や高齢の方に対応した健診を提供しています。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人誠和会 正田病院
所在地	群馬県安中市安中1-16-32
沿革	昭和36年7月 正田医院 開院（9床） 正田健三 昭和45年 正田医院 増床（19床） 昭和57年3月 正田病院新築（31床） 昭和63年8月 正田病院増床（50床） 平成11年 医療法人設立 平成11年10月 企業健診開始 平成14年4月 正田病院健康管理センター開設

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	43 床	床	床	床	43 床	床
	平均在院日数	日	日	日	36.0 日	
	病床稼働率	%	%	%	83.1 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	43 床	床	床	床	43 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	地域のかかりつけ病院として、これまでと同様におこなっていきたい。
-------------------	----------------------------------

3. 医療機能について

診療科目	4 科（外科・内科・胃腸科・肛門科）
------	--------------------

現在	○ がん	○ 脳卒中	○ 心血管疾患	○ 糖尿病	精神疾患	○ 在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	○ がん	○ 脳卒中	○ 心血管疾患	○ 糖尿病	精神疾患	○ 在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	公立富岡総合病院	公立碓氷病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	公立富岡総合病院	公立碓氷病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 訪問診療	自宅、施設への24時間の訪問診療を行い、急変時にはスムーズな入院を受入れる。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> • 地域のかかりつけ病院として対応している • 経験豊富な医師における、初期治療や予防医学である健康診断やがん検診を行っている
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> • 健診センターを充実させ病気を早期発見できるように力を入れる • 訪問診療を行うことで自宅で生活できるようサポートできる病院を目指す • リハビリ機能を充実させ、在宅でもサポートできるよう訪問リハビリの体制作りをいって行きたい
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 信愛会 本多病院
所在地	安中市鷺宮205-1
沿革	昭和21年 本多忠太郎診療所を開設 昭和28年 医療法人信愛会設立 昭和40年 本多病院開設、外科系病院として地域の救急医療に貢献する 平成7年 病院の移転新築、個室を主体とした35床の療養型 令和元年10月 病床35床のうち、15床を介護医療院へ転換

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	20床	床	床	床	20床	床
	平均在院日数	日	日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	20床	床	床	床	床	20床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	変更の予定なし
-------------------	---------

3. 医療機能について

診療科目	7科 (内科、循環器内科、糖尿病内科、外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科)
------	---

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					

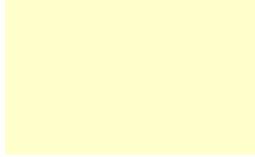


将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	富岡総合病院	高崎総合医療センター	須藤病院
主な紹介先医療機関	富岡総合病院	高崎総合医療センター	須藤病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 	治療はもちろんのこと、その後の患者様の個々の状態に応じた生活スタイルを考慮した対応を行っている。 在宅サービスや施設、居宅ケアマネとも協働を図っている。
特徴的な 	PT・OT・STが連携を図り、疾患別リハビリテーションを行い、在宅、施設へスムーズに移行できるよう取り組んでいる。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	恵まれた環境と最新の設備を備え、安心して快適な入院生活をおくることができます。より質の高い外来、入院の医療サービスを提供している。 高齢者の社会復帰を目標に、リハビリを中心とした看護・介護の一貫体制を確立している。
当院の未来像	現在も、地域医療・ケアを積極的に支援しておりますが、他職種協働となり、連携の強化を図る。 地域病院・施設・住民との連携をしっかりと図り、患者様にとって利便性のある病院を目指す。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	当院は、明るくあたたかな、友達の家を訪問するような気軽な気持ちで来ていただける空間を目指しています。 どんな時も、そばにいる身近なホームドクター。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園診療所
所在地	群馬県高崎市寺尾町2120-2
沿革	昭和46年 4月 開設（入所者の健康管理・施設内診療所） 平成 7年10月 保険医療機関指定・保険診療（外来）開設 平成14年 1月 地域の外来診療開始・入院病棟13床運用開始 有床診療所となる。

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	13 床	床	床	床	13 床	床
	平均在院日数	日	日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	13 床	床	床	床	13 床	床	床

2025年に 向けた 病床活用の 見通し	未定
-------------------------------	----

3. 医療機能について

診療科目	5 科（内科、精神科、整形外科、皮膚科、歯科）
------	-------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能	未定				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 	福祉・保健・教育などの関係機関と連携しながら、施設や地域で暮らす知的障害や発達障害をお持ちの方々の診療を行っております。
特徴的な 	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域の知的障害などをお持ちの方々の受診を積極的にお受けしております。
当院の未来像	未定
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 吉井中央診療所
所在地	群馬県高崎市吉井町吉井415-1
沿革	昭和51年：一般病床13にて開院 平成16年：一般病床19床に増床 平成30年12月：新外来棟完成（建替え）、一般病床から19床から17床へ変更 令和2年4月：一般病床（6床）を機能訓練室に変換する

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	11 床	床	床	床	11 床	床	床
	平均在院日数(※1)		日	日	日	日	
	病床稼働率(※2)		%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	11 床	床	床	床	11 床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	今後も、回復期、慢性期の患者様を中心に活用していくとともに、眼科手術を行う患者さんにも活用していく。また、機能訓練室へ変換となり、外来リハビリの強化を図っていく予定です。
---------------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	4 科（内科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科）
------	---------------------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	公立富岡総合病院	公立藤岡総合病院	高崎市総合病院
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 総合的医療	内科、眼科を中心に、患者様の病状について医師同士が密な連携図り、総合的な診療をご提供することが可能です。
特徴的な 地域包括ケア	要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、党员と法人グループないの介護サービス事業との強固な連帯体制を図っております。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	外来診察の日か、往診、訪問診療など在宅診療も行っています。また、グループ内で特養、老健、訪問看護、居宅介護支援事業所を運営しており、介護サービスとの連携を図りながら、地域の医療・介護の担い手として尽力しております。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 患者様が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、地域の医療・介護との連携体制を更に強化していきます。 ホームページだけでなく、SNSを利用した情報発信の充実をめざします。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>地域の皆様に信頼を頂いて40年。 吉井中央診療所は、内科に加え平成30年12月から眼科を新設しました。 これからも、気軽に相談できる町のお医者さんであり続けるために、一人ひとりに親身に寄添った人に優しい医療を提供できるよう慢心してまいります。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	一般財団法人榛名荘 榛名荘病院附属高崎診療所 はるな脳外科
所在地	群馬県高崎市上豊岡町827番地1
沿革	平成9年：有床診療所 19床にて開院 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19床	床	19床	床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	33.8日	日	日	日
	病床稼働率(※2)	%	89.5%	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19床	床	19床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	2025年に向けて現在の有床診療所(19床)の体制を継続する。 基幹病院と連携しながら、脳疾患の診断・治療を行い、入院は脳血管疾患を主な対象とする。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	3科 (脳外科 整形外科 リハビリテーション科)
------	--------------------------

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、脳ドック等の予防医療									



将来(2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、脳ドック等の予防医療									

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	榛名荘病院	高崎総合医療センター	
主な紹介先医療機関	榛名荘病院	高崎総合医療センター	

5. 当院の特徴について

特徴的な 救急体制	高崎西部・安中地区を中心に、脳卒中の初期治療を目指している。特に掛かりつけの患者様の急変については、原則お断りしない方針で対応している。
特徴的な チーム医療	医師、看護師、看護助手、放射線技師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、調理士、理学療法士、作業療法士、言語療法士、医療ソーシャルワーカーと多くの職種、様々な資格者が連携し脳血管疾患の急性期治療から、リハビリに至るスムーズな流れが形成されています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	平成9年11月に開設以来、脳卒中の治療、リハビリをひとつの大きな目標に掲げ診療を行っている。 規模の小さい診療所だが、医師、看護師を始め様々な資格を持った職種が連携を図り、急性期の脳疾患への対応と、慢性期の患者様の医学的管理を行っている。さらに、平成14年6月から整形外科部門において脊椎脊髄病に特化した外来診療に力を入れ、診断・治療を行い。手術や入院は本院である榛名荘病院で治療を行っている。 この診療体制を活用し地域の皆様の健康を守ることを目指している。
当院の未来像	2025年に向けて現在の有床診療所(19床)の体制を継続する。 基幹病院と連携しながら、脳疾患の診断、治療を行い、入院は脳血管疾患を主な対象とする。 今後、診断・治療技術の向上に努め、リハビリテーションをさらに充実させる。 長寿社会となり、高齢者が増加している中で、障害のある方々が安心して生活できるように基幹病院や介護施設と連携しながら診療所としての役割を追求していく。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	脳卒中をはじめとする脳疾患の診断、治療について気軽に受診できる診療所を目指しています。 有床の診療所(19床)なので入院治療、リハビリテーションが可能。 高齢化社会となって一人暮らしのお年寄りや認知症の方が増え、老老介護の御夫婦もよく見られます。私達は介護施設と連携を図りながら高齢者の方々を見守っていきたいと思います。

2025年への対応方針

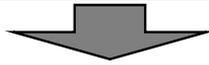
1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団清水内科
所在地	群馬県高崎市飯塚町703
沿革	昭和43年：一般病床 19床にて開院 糖尿病のコントロール、教育目的にて入院加療

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	19 床	床	床	床
	平均在院日数	日	10.0 日	日	日	
	病床稼働率	%	30.0 %	%	%	



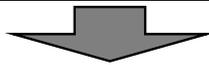
将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	19 床	床	19 床	床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	短期血糖コントロール中心 (代謝の改善 食事指導)
---------------------------	---------------------------

3. 医療機能について

診療科目	内科 (糖尿病内科、循環器内科)
------	--------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能						

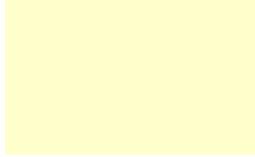


将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能						

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	日高病院	真木病院
主な紹介先医療機関	第一病院	高瀬クリニック	

5. 当院の特徴について

特徴的な 	内科、糖尿病内科を中心に高血糖の患者様にも外来⇔入院の選択でインスリン導入
特徴的な 	食事の実践を試食会や実践食の提出により指導している

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> • 糖尿病の患者教育、食事指導を継続的に行っている。 • 試食会等で実践的な食事の提供も併行し代謝の改善には食事か薬物かどうい うタイミングで必要かを毎日外来、入院を区別して指導している
当院の未来像	コントロール入院の継続、血糖が下がらない理由、悩みを看護師や管理栄養士などすべてのスタッフが総合し、実践的な指導をしていく
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	糖尿病、脂質異常症の食事に対する正しい知識の発信、啓蒙を続ける食事、薬物、インスリンの使用と血糖の関係の正しい知識の共有

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人秀緑会 高山眼科緑町医院
所在地	群馬県高崎市緑町1丁目5番3
沿革	平成5年 一般病棟14床にて開院、現在は9床

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	9床	床	9床	床	床	床
	平均在院日数	日	2.0日	日	日	
	病床稼働率	%	23.2%	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	9床	床	9床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	75才以上の高齢者が増加するに伴い、白内障、緑内障、加齢黄斑変性等の疾患がさらに増加することが予想される。これらの疾患は、手術や侵襲の強い処置が必要になるため、短期ながらも入院が必要になる。入院施設を維持して、これらのニーズに対応していきたい。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	1科(眼科)
------	--------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	手術、レーザー治療、集中薬物治療時の入院				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	手術、レーザー治療、集中薬物治療時の入院				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	群馬大学医学部附属病院		

5. 当院の特徴について

特徴的な 眼科専門医療	一般外来治療並びに手術を含め、眼科の総合的な治療が可能な有床診療所である。複数の医師が在籍し、駅前医院とも連携して、電車、バス、自動車、徒歩のすべての移動手段で通院可能である。入院施設を整え、全身麻酔手術以外はほぼ対応可能である。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	いくつかの分野で、まだ全国レベルの技術の習得が出来ていない。
当院の未来像	信のオールラウンドの眼科クリニックを目指す。また、ハイクオリティの自由診療や先進医療も積極的に取り入れていきたい。超高齢社会に対応して、在宅医療にどう関わっていけるか検討したい。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	高崎地区で全国レベルの治療を提供します。患者さんの要望に寄り添って、真に必要な治療を、可能な限り患者さんの負担を少なくしながら、クリニック一丸となって行っていきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人瑞穂会 みさと診療所
所在地	群馬県高崎市箕郷町上芝628-1
沿革	平成17年：一般病床19床にて開院 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19床	床	床	19床	床	床
	平均在院日数	日	日	10.3日	日	
	病床稼働率	%	%	30.6%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19床	床	床	19床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	<p>①介護保険施設付設の医療機関として入所者に医療が必要になった場合に、適宜・適切な医療を提供していく。</p> <p>②併せて、外来診療や検診・人間ドックの充実を図り、地域の医療福祉の向上を目指す。</p>
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	4科 (内科、外科、消化器外科、ペインクリニック)
------	---------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		人間ドック等健康診断				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		人間ドック等健康診断				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	真木病院	日高病院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	真木病院	第一病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 地域連携	内科、外科、消化器外科、ペインクリニックを軸に、他の医療機関と連携を図りながら、真心のこもった診療を提供している。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域のかかりつけ医療機関として、検診・人間ドックを通して、地域住民の日頃の健康維持管理を担うと共に、早期発見・治療を心がけている。
当院の未来像	地域に根ざした、必要とされる医療機関としての責務を果たしていく。 また、地域の病院と連携を深め、利用者にとって、より良い医療機関を目指す。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	法人の理念として、真心のこもった安心と誠実の医療を提供していきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人星陽会 いしもとレディスクリニック
所在地	高崎市中泉町608-2
沿革	平成10年7月 14床の産科 有床診療所として開院

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	14 床	床	床	14 床	床	床
	平均在院日数	日	日	6.8 日	日	
	病床稼働率	%	%	71.0 %	%	%



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設 等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	14 床	床	床	14 床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	特に変更予定なし
---------------------------	----------

3. 医療機能について

診療科目	3 科 (産科、婦人科、内科)
------	-----------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能						



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能						

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	国立病院機構高崎総合医療センター	小児医療センター	群馬大学病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 周産期医療	なるべく自然分娩を勧めている。前回帝王切開の経膈分娩は勧めていない。分娩後一日目からの母児同室、ほとんど個室で過ごす。
特徴的な 予約診療	平成28年5月より予約診療を開始して、待ち時間の短縮を試みている。インターネットを利用した予約も可能なので、当院のホームページから予約してもらいたい。（電話でも可）

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	分娩・・・産科を主に診療している。初期から出産、産褥までローリスクの妊婦様のニーズに応えるため、最新の設備と環境を整える様、日々努力をしている。又、帝王切開は、麻酔科Drの立ち会いで、安全な手術を行っている。婦人科癌、乳癌・・・高崎市の癌検診を中心に、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌の早期発見に寄与している。不妊症・・・一般的不妊治療を行っている。
当院の未来像	将来は、最新の医学の知見を導入し、今現在の診療体制の更なる充実を図り、地域の周産期医療の一翼を担える様に努力したい。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	女性の健康を守るため地域に根差し、今後更なる少子化を何とか食い止める様努力を尽くして参りたいと思います。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人愛生会セントラルレディースクリニック
所在地	群馬県高崎市東町80-7
沿革	平成7年：個人医院産婦人科として、一般病床（急性期）17床にて開院 平成9年：医療法人へ移行

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	17 床	床	17 床	床	床	床
	平均在院日数	日	6.2 日	日	日	日
	病床稼働率	%	61.0 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設 等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	17 床	床	17 床	床	床	床	床

2025年に 向けた 病床活用の 見通し	特に変更なし
-------------------------------	--------

3. 医療機能について

診療科目	1 科（産婦人科）
------	-----------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能		産婦人科			



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能		産婦人科			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	群馬県立小児医療センター	高崎総合医療センター	前橋赤十字病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 診療を受ける方、ご家族に対して	<p>1.ハートフルなケアと最善の医療により、安全と安心を提供する</p> <p>2.コミュニケーションを大切にし、満足いただける医療に努める</p> <p>3.プライバシーを厳守する</p>
特徴的な スタッフに対して	<p>スタッフ一同、医療に従事するプロフェッショナル集団として以下に記載した事項に関し、一層充実するよう努力する</p> <p>1.自己の向上性に努める</p> <p>2.リラックスできる雰囲気作りに努める</p> <p>3.インフォームドコンセント、インフォームドチョイスに一層努める</p> <p>4.清潔で明るい環境作りに努める</p>

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>当クリニックは高崎駅東口より徒歩10分の高崎市の中心部にあります。常勤医師（2名）、助産師、看護師はじめとするスタッフは、総勢40名ほどです。診療は、妊婦健診、分娩取り扱いをはじめ、不妊治療、婦人科手術（腹腔鏡手術を含む）を行っています。</p>
当院の未来像	<p>周産期医療施設として、これからも地域医療に貢献していきたい。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>平成6年9月に開院以来、診療を受けられる皆様に対し</p> <p>① プライバシーの厳守</p> <p>② リラックスできる環境作り</p> <p>③ 十分な説明</p> <p>④ 満足度の向上</p> <p>と同意そして選択 を 実行 できる よう クリ ニッ ク施 設の 整備 、職 員研 修に 積極 的に 取り 組ん でい ま す。多 くの 方々 とお 会い でき るこ とを 心よ りお 待ち して いま す</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 翠松会 松原医院
所在地	群馬県高崎市新保町1585-1
沿革	平成2年11月2日、現在地にてにおいて、産科婦人科 松原医院として開院。 許可病床数15床。 平成6年4月1日、医療法人 翠松会 松原医院として法人化。 令和3年4月1日より、内科・皮膚科・肛門外科を追加標榜し、現在に至る。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	15 床	床	15 床	床	床	床
平均在院日数(※1)		日	4.8 日	日	日	日
病床稼働率(※2)		%	2.6 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	8 床	床	床	8 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	分娩の大病院への集約化、コロナ禍による外来患者、入院患者、分娩数の減少により、医療報酬の急激な落ち込みという状況に至り、従業員の削減をせざるを得なくなり、入院病床の維持が困難になってきているため、段階的に病床を削減しながら無床化する予定であったが、当院での分娩希望患者が戻りつつあるので、今後も分娩や婦人科系の入院患者に対応しつつ、外来医療にも力を注いでいく方針である。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	4 科 (産婦人科、皮膚科、肛門外科、内科)
------	------------------------

現在	○ がん	脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	肛門外科の小手術。皮膚疾患の治療。				



将来(2025年)	○ がん	脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	肛門外科の小手術。内科、皮膚科の診療。				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	群馬大学病院	前橋赤十字病院
主な紹介先医療機関	群馬中央病院	日高病院	藤岡総合病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 診療内容	高崎市東部の交通至便な地域に立地し、主に中高年女性を中心とした婦人科医療および付随した肛門疾患、皮膚疾患を治療し、患者さんの利便性を優先させ、地域医療に貢献することができる。 また、若年層女性の生理不順等のホルモンバランス異常に対しても、患者さんにとって最善の治療を提案し、健やかな日々が送れるよう貢献している。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	産科、婦人科として約30年以上、分娩および婦人科手術を中心として、地域医療に貢献してきたが、分娩の病院への集約化、婦人科手術の減少およびコロナ禍による患者数の減少により、従業員の削減・事業規模の縮小化をせざるを得ない状況となった。
当院の未来像	少数精鋭の従業員を活用し、分娩および婦人科での入院患者さんに対応しつつ、これまで以上に、産科・婦人科・内科・皮膚科・肛門外科の幅広い患者さんに対して外来医療を提供していく。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は予約制ではありませんので、受付時間内にご来院ください。 ・初診の方や検査が必要な場合はお時間がかかりますので、受付終了30分前までにご来院をお願いしております。 ・診療時間等ご不明・ご心配な場合は、ご来院前にお電話にてお問い合わせください。TEL:027-353-4103 ・診療日、診療時間等は当院ホームページでもご確認いただけます。 https://www.matsubara-ladies-clinic.com

2025年への対応方針

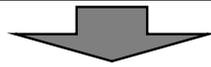
1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人あいおい会 こすもレディースクリニック
所在地	高崎市旭町113-7ハートスクエア長建1F
沿革	H18.11.02 一般病床1床の母体保護法指定医療機関として開院 H25.11.18 医療法人化 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	1 床	床	1 床	床	床	床
	平均在院日数	日	0.0 日	日	日	
	病床稼働率	%	0.0 %	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	1 床	床	1 床	床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	規定で、母体保護法指定医療機関として病床の確保が必須とされている。また、産婦人科外来を開設していると、種々の急性患者の受診があり、応急的な救命救急処置が必要であったり、搬送までの安静加療の場が必要であったりすることが時々あるので、2-3床は確保しておきたい。しかしながら、当院のような零細クリニックでは、病床を確保し、当直のための医師、看護師等や、給食のための設備、人員を確保することは経営的に困難である。母体保護法の縛りによる病床確保が不要になるなら病床返上も検討に値すると思われる。
---------------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	1 科 (産婦人科)
------	--------------

現在	<input type="checkbox"/>	がん	<input type="checkbox"/>	脳卒中	<input type="checkbox"/>	心血管疾患	<input type="checkbox"/>	糖尿病	<input type="checkbox"/>	精神疾患	<input type="checkbox"/>	在宅医療
	<input type="checkbox"/>	救急	<input type="checkbox"/>	災害	<input type="checkbox"/>	へき地	<input type="checkbox"/>	周産期	<input type="checkbox"/>	小児	<input type="checkbox"/>	その他
		「その他」の具体的な機能										



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/>	がん	<input type="checkbox"/>	脳卒中	<input type="checkbox"/>	心血管疾患	<input type="checkbox"/>	糖尿病	<input type="checkbox"/>	精神疾患	<input type="checkbox"/>	在宅医療
	<input type="checkbox"/>	救急	<input type="checkbox"/>	災害	<input type="checkbox"/>	へき地	<input type="checkbox"/>	周産期	<input type="checkbox"/>	小児	<input type="checkbox"/>	その他
		「その他」の具体的な機能										

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	産科婦人科佐藤病院	ヘルスパーククリニック	平成日高クリニック
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	小児医療センター	群馬大学附属病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 保健指導 患者教育	保健医療情報は、インターネットなどの発達で以前と比べ格段にアクセスが容易になっているが、実際には過剰な情報に幻惑されて、正しい行動がとれていない場合が多い。正しい情報の提供と、適切な指導、教育を通じて疾病からの回復や健康の増進に寄与している。
特徴的な 産婦人科を中心として関連する疾患への初期治療と専門科への振り分け	産婦人科の診療を主な柱として、関連する泌尿器科、皮膚科、内分泌科、内科、外科の初期治療の提供と高次治療への振り分けを行っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	1床の有床診療所で、当直や給食への対応が経営的に困難であるため、基準をクリア出来ないのが、日帰り手術等を進めて医療費軽減に貢献しているにも拘らず、保険適用にならず、経営に困難を感じている部分がある。しかしながら、日々の診療で医療者としての生きがいを感じているので、経営を改善しながら、やれる限りは街中の片隅で良い医療を提供する努力を継続して行く。
当院の未来像	親子間での承継は現行法律の枠内ではあり得ないと思うが、第3者の承継希望者が出現して下されば、有り難く、そのためにもクリニックを地域の人々にとっても、スタッフにとっても、承継者にとっても魅力あふれるものとしてゆくために努力を重ねたい。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	住みよい地域の存続には、身近な地域の小さな商店の存在が不可欠の様に、大きな病院や大規模なクリニックだけでは先進的な医療や高額な費用を要する医療については別にして、身近な良い医療を享受することは難しいと思います。身近な小さな医療施設を大事にしてください。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団彩光会 北川眼科クリニック
所在地	群馬県高崎市中泉町603-2
沿革	平成16年：一般病床（急性期）5床にて開設 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	5床	床	5床	床	床	床
	平均在院日数	日	日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	5床	床	床	5床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も、周術期管理が中心となります。
-------------------	--------------------

3. 医療機能について

診療科目	1科 (眼科)
------	---------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	眼科全般				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	眼科全般				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	群馬大学医学部附属病院	前橋中央眼科	

5. 当院の特徴について

特徴的な 信念	患者様のことをまず第一に考える。これは当クリニック開設当初からの信念であり、日々の診療はじめ、全てがこの精神のもとに運営されています。
特徴的な 診療体制	当クリニックはコンタクトレンズ、メガネ処方はもちろんのこと、網膜硝子体、眼瞼と涙道、白内障、緑内障、小児の眼科など様々な分野の疾患にも幅広く対応しています。より専門性の高い治療が必要と判断されれば、患者様に安心して受診していただける医療機関をご紹介します。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	外来診療では、正しい診断と患者様のご要望に応じた適切な治療を常に心がけ、日々の診療にあたっております。入院手術では患者様の不安が少しでも取り除かれるよう丁寧な手術説明を行い、実際の手術においても苦痛のないように行います。
当院の未来像	当クリニックは今後も地域の皆様のお役に立てるように、最新の検査、治療を導入し、常に質の高い医療を提供し続けることを目指します。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	眼について、何かございましたらお気軽にご相談下さい。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人小野垣医院
所在地	群馬県高崎市中居町3-39-2
沿革	昭和51年9月 小野垣医院開設 平成2年11月 医療法人小野垣医院開設

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	3 床	床	3 床	床	床	床
	平均在院日数	日	1.0 日	日	日	
	病床稼働率	%	33.0 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	床	床	床	床	床	床	3 床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	現在は主に検査入院の際に使用、今後は廃止の可能性あり。
---------------------------	-----------------------------

3. 医療機能について

診療科目	3 科 (内科、消化器科、循環器科)
------	--------------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	済生会前橋病院	群馬大学病院
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	昭和病院	

5. 当院の特徴について

特徴的な 医療体制	総合内科専門医として、医療管理の相談を担当し、専門病院への紹介を主体とした連携体制を整えている。胃ファイバースコープ、大腸ファイバースコープ、CT等を用いて、癌や各種病気の早期診断が可能である。特殊外来も、専門医によって行っている。甲状腺外来、糖尿病外来、高血圧外来がある。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 慢性疾患の治療をはじめ、普通診療、困難な病気の発見に努め、早期各種癌の診断をしている
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 地域の皆様のかかりつけ医院として、より良い医療を提供していきたい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> 内科専門医として病気の早期発見、早期治療に努め、今後も地域の皆様に寄り添った医療を提供していきます。 特に専門病院との連携を密に深め、引き続き、癌の早期発見、早期治療に努めていきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 社団美心会 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック
所在地	群馬県高崎市矢中町188
沿革	2009 (平成21年) 7月 黒沢病院附属ヘルスパーククリニック 開院(1日) 7月 疾病予防運動施設メディカルフィットネス&スパ ValeoPro (ヴァレオプロ) を同時オープン(1日) 2010 (平成22年) 5月 日本脳ドック学会認定施設に認定される (高崎健康管理センター) 2011 (平成23年) 4月 内視鏡センター開設 11月 ValeoProが厚生労働省の「指定運動療法施設」に認定 2021 (令和3年) 3月新型コロナワクチン接種開始 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	床	床	19 床	床	床
	平均在院日数(※1)		日	日	日	日	
	病床稼働率(※2)		%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	19 床	床	床	床	19 床	床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	<p>当クリニックの病床は、人間ドックの宿泊室として活用しています。</p> <p>人口減少や少子高齢化、医療費の増大が急速に進んでいる中で、2025年に向けて予防医療の需要は飛躍的に増大すると見込まれています。日本人の死亡原因の第1位から第3位を占める「がん・心臓病・脳卒中」などは生活習慣病が深く関係しています。国の方針でも発症・重症化予防を通じた医療費抑制に力を移している。</p> <p>その中で、当クリニックの健康管理センターでは年々人間ドック受診者数も増加しております。充実した最新の診断装置を揃え、専門医師と経験豊富な技師が撮影・診断を行い、検査の結果をもとに各専門スタッフが、保健、運動、栄養の面からトータル的にバックアップし、生活習慣病の予防やがんの早期発見・適切治療に継続して努めていきます。</p> <p>また、現状は日帰りドックや日帰りの健診数が多くを占めていますが、予防医学等の推進及び中高年層の予防医学の考えが、早期発見、適切治療を求める傾向が強まってきたことにより、一泊及び二泊による泊りドックの希望も多くなってくることが予想されます。泊りドックでは、日帰りとは比べ、より精密な検査と綿密な指導管理を行うことができ全身のチェックが可能となります。</p> <p>そのためにも、当クリニックの病床は必要となると考えます。</p>
---------------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	20 科 (泌尿器科・泌尿器科(人工透析)・脳神経外科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・内科・循環器内科・呼吸器内科・肝臓内科・内視鏡内科・アレルギー科・婦人科・皮膚科・美容皮膚科・リハビリテーション科・歯科・歯科口腔外科・放射線科)
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		※人間ドック、脳ドック、各種健康診査、保健指導 等 メディカルフィットネス			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		※人間ドック、脳ドック、各種健康診査、保健指導 等 メディカルフィットネス			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	黒沢病院	高崎総合医療センター	
主な紹介先医療機関	黒沢病院	高崎総合医療センター	群馬大学附属病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 予防医療と治療の 連携	<p>当クリニックの高崎健康管理センターと外来、隣接設置している病院と連携して早期発見、適切治療に努めています。</p> <p>高崎健康管理センターでは各種様々なドックコースを取り揃えており、全身腫瘍ドックでは早期癌の発見により、内視鏡治療や腹腔鏡手術での根治治療。脳ドックでは未破裂脳動脈瘤を発見にてコイル塞栓術を施行するなどして、破裂を未然に防ぐことが出来た症例もあります。</p> <p>また、前立腺癌や膀胱癌等の泌尿器疾患についても、ドックからの外来受診者やがん発見率が増加しており、発見された癌治療については、化学療法や侵襲の大きな手術を行っております。このように、予防医療と治療の連携により、早期発見、適切治療を実現しています。</p>
特徴的な メディカルフィッ トネス	<p>当クリニックには、医療法第42条に規定された施設で、医療法の基準に沿ったフィットネスクラブがあります。メディカルスタッフのバックアップで、効果的に運動を行なっています。定期的に検査も実施し、ご利用者の健康増進に寄与する施設です。ゆったりと開放的なジムやスタジオはもちろん、心と体を癒していただくリラクゼーションスペースや温泉なども備えております。</p>

6. 現状と今後の方針等

<p>当院の現状</p>	<p>良質な総合医療サービスの実現に向けて、生活に密着した場所で最先端の予防医療、健診、治療ができる施設として平成21年7月に「黒沢病院附属ヘルスパーククリニック」を開設した。</p> <p>当クリニックは保健、医療、福祉の統合をめざし、健診・ドック、外来、歯科、介護、健康増進事業など、各種サービスを行っています。提供するすべてのサービスに共通すること、それは質の高い医療とホスピタリティー（おもてなし）の精神です。その実現に向けて、その時々医療水準に基づいた機器の導入と有能なスタッフの配置をしています。また、居心地の良い空間づくりのため、従来の医療機関のもつネガティブなイメージの払しょくに向けた、空間とアメニティーの充実、おもてなしのこもった医療サービスに努めています。</p> <p>令和3年3月から新型コロナワクチン接種を開始しました。基本型接種施設となり、医療従事者の方々、高齢者、その他ワクチン接種希望者と多くの方に接種しました。日曜祝日も問わず実施し、多い日で1,000人/日の方が来院いたしました。また、高崎市接種会場へ当院医師や看護師、事務職員を派遣しての接種や、県内大学や専門学校を訪問し、若年層へのワクチン接種推進にも力を注いでいます。</p>
<p>当院の未来像</p>	<p>人口減少や少子高齢化、医療費の増大が急速に進んでいる中で、2025年に向けて予防医療の需要は大きくなっていくと見込まれている。</p> <p>下記グラフの如く、当クリニックの高崎健康管理センターでの人間ドック受診者数も増加しており、ドック・健診での胃カメラも比例して増加しております。</p> <p>平成23年に外来移転と共に当センターも移転しました。さらに平成29年には健診・ドックを分離すべくセンターを拡大しております。ドックプランも様々設けております。全身腫瘍ドックでは早期癌の発見により、内視鏡治療や腹腔鏡手術での根治治療や、脳ドックでは未破裂脳動脈瘤を発見にてコイル塞栓術を施行するなどして、破裂を未然に防ぐことが出来た症例もあります。また、前立腺癌や膀胱癌等の泌尿器疾患についても、ドックからの外来受診者やがん発見率が増加しており、発見された癌治療については、化学療法や侵襲の大きな手術を行っております。また、隣接設置している病院との連携併用により、緊急な検査や手術にも対応しております。</p> <p>生活習慣病においても、保健師等を中心にサポートさせていただいております。</p> <p>上記内容を踏まえ、今後はより精密な検査と綿密な指導管理を希望する方が多くなると予想されます。そのためには、一泊ドック、二泊ドックが必要不可欠と考え、地域に密着した医療を目指す当法人としては、当クリニックでの健診ドック事業の拡充を担っていきます。</p> <p>新型コロナワクチン接種については、今後も人員体制を取り、多くの方への接種に尽力を注ぎます。地域の人々を新型コロナ感染・重症化から護るという信念の下、今後も取り組んでいきます。</p>
<p>その他 (県民・受診者への メッセージ等)</p>	<p>私達は、地域の皆さまが、住み慣れた街で安心して暮らせるように、医療面からの生活サポートを行い、地域における総合的な健康管理を取り組みます。</p> <p>ヘルスパーククリニックは、外来による医療と、予防医療・健康増進に力を入れた施設です。</p>

2025年への対応方針

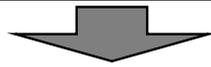
1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	斎川産婦人科医院
所在地	群馬県高崎市岩押町31-10
沿革	昭和41年：産婦人科病床（急性期）10床にて開院 平成8年：病床を全面改築10床 現在に至る

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	10床	床	10床	床	床	床
平均在院日数		日	5.3日	日	日	
病床稼働率		%	58.0%	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	10床	床	床	10床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も産科医療を中心として、分娩を中心に医療を行っていく予定である。 増床、減床は考えていない。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	科（産婦人科）
------	---------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 産科外来	<ul style="list-style-type: none"> 産科外来では、妊婦さん一人一人と医師、助産師、看護師が丁寧に時間をかけて接し、お産に対する疑問、恐怖などを解決できる様心掛けている。
特徴的な 分娩から産褥期	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全な分娩を心掛けているが産褥期も一人一人に合った指導を行っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>年間分娩数300を超えるお産を扱っているがコミュニケーションを多くとる様心掛け、質問し易い環境を作る様にしている。 その結果として経膈分娩が多く帝王切開率が低くなっている。</p>
当院の未来像	<p>現在と同様、妊婦のニーズに合った産科医療を提供していきたい。また、助産婦によるヨガ教室も開催予定である。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>分娩を中心に、医療を行っている医院ですが、分娩において作られた信頼関係を分娩以外の婦人科トラブルで気軽に相談出来る女性によりそった医療を心掛けております。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	さわらび医療福祉センター
所在地	群馬県高崎市大八木町168番地1
沿革	昭和40年:『はんな・さわらび学園』の設置経営を主たる目的として、財団法人榊桐会を設立 昭和43年:50床にて施設開園 昭和45年:60床の収容棟を増築し、計110床 昭和47年:財団法人榊桐会を解散し社会福祉法人榊桐会を設立 昭和51年:10床を削減し、計100床 昭和56年:3床を増床し、計103床 平成3年:施設名称を『はんな・さわらび療育園』と改める 平成20年:短期入所室4床を増床し、計107床 令和4年:現在地に新築移転し施設名称を『さわらび医療福祉センター』と改める 令和4年:移転と同時に長期入所室を2床、短期入所室を11床増床し、計120床 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	120 床	床	床	床	120 床	床
平均在院日数(※1)		日	日	日	211.0 日	
病床稼働率(※2)		%	%	%	86.5 %	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	120 床	床	床	床	床	120 床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も重度の知的障害と肢体不自由が重複した児童及び18歳以上の利用者様(重症心身障害児者)に対して、専門的な知識と経験を活かした高度な医療と福祉サービスを提供していく。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	5 科 (内科、脳神経内科、精神科、小児科、リハビリテーション科)
------	-------------------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション					



将来(2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬県立小児医療センター		
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	真木病院	

5. 当院の特徴について

特徴的な 障害者医療	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児者を対象に、「医療」「看護」「支援」「リハビリテーション」など、「個別援助」をキーワードに総合的に援助している。 ・「学校教育」を必要とされる学齢児には、地域の特別支援学校や高等特別支援学校の訪問学級を設置し、個別の教育体制も整備している。
特徴的な 各種委員会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全や感染対策をはじめ、とくに褥瘡対策には力を入れており、年間を通しての褥瘡発生率は低水準となっている。また虐待防止にも取り組んでおり、職員の意識を高めるとともに、利用者様へのサービスの充実を図っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児者に対して、日常生活の支援、療育及び医療的ケアを提供している。 ・在宅の重症心身障害児者の方に対して短期入所サービスを提供している。 ・入所者様及び在宅の障害児者の方に対して専門性の高いリハビリテーションを提供している。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・外来機能を強化し、発達障害のある患者様への診療、リハビリテーションの提供を充実させる。 ・短期入所の受け入れ体制を強化し、在宅で重症心身障害児者を介護されているご家族の負担の軽減を図る。 ・地域の病院、福祉施設及び各行政機関との連携を深め、利用者様にとって利便性の高い施設を目指す。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに蓄積されたノウハウを活かし、入所者様及び在宅の利用者様、そのご家族が健やかに生活できるよう必要とされる医療と福祉を提供いたします。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	社会福祉法人二之沢愛育会 群馬整肢療護園
所在地	群馬県高崎市足門町146-1
沿革	昭和24年5月：財団法人二之沢愛育会設立（S27.5月社会福祉法人へ変更認可） 昭和25年4月：肢体不自由児施設群馬整肢療護園経営を県から受託し療育事業開始（定員24名） 昭和25年7月：医療法上の病院として設置認可 昭和44年2月：重度病棟増設（定員134名） 平成12年7月：新病棟（定員50名）を重症心身障害児施設に転換 平成24年4月：法改正により施設種別が医療型障害児入所施設及び療養介護事業所に変更 平成25年12月：定員を変更（肢体不自由児66名→50名、重症心身障害児者50名→66名） 平成29年2月：管理診療棟2Fに「あおぞら病棟（16床）」を開棟 令和2年9月：訪問看護ステーション「にじの環」開設

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	116 床	床	床	床	床	116 床
	平均在院日数(※1)	日	日	日	2177.0 日	
	病床稼働率(※2)	%	%	%	82.2 %	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	106 床	床	床	床	床	106 床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	利用者の実態（障害の状況、入所者の年齢等）に合わせた活用をしていく。
-------------------	------------------------------------

3. 医療機能について

診療科目	科（小児科、整形外科、小児外科、児童精神科）
------	------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	発達外来及び神経発達症児、肢体不自由児、重症心身障害児者へのリハビリテーション						



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	発達外来及び神経発達症児、肢体不自由児、重症心身障害児者へのリハビリテーション						

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	小児医療センター		
主な紹介先医療機関	小児医療センター	前橋赤十字病院	高崎総合医療センター

5. 当院の特徴について

特徴的な チームワーク	障害児者のための病院であり、入院部門では多職種による緊密な連携の元に医療・看護・リハビリテーション等、日常生活全般に渡る療育及び支援を行っている。
特徴的な 障害児診療	外来部門では障害児に対する医師による診療の他、診療に基づき専門の臨床心理士や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が心理アセスメントやリハビリテーションを行っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・入院療育や外来診療の他、短期入所や通所サービス、訪問看護を実施している。 ・隣接する特別支援学校と連携を図りながら、障害児に対する教育や療育を実施している。
当院の未来像	在宅福祉サービスとして必要な社会資源が充実し、障害児者の地域移行が推進される中、地域で安心して暮らせるよう、訪問看護事業などを中心に更に在宅支援事業にも力を入れていく。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	心身に重度の障害を持った方のための医療・療育機関であり、個々の利用者様に応じた医療サービス、発達支援、自立支援、生活の質の向上のためのサービスを提供しています。また、訪問看護事業等により、それぞれの地域機で暮らす障害児者のご家庭を訪問し、本人及びご家族の支援を行っています。第1、第3土曜日も診療を行っており、心身の発達にご心配な方が安心して受診できる体制を整えています。